

# 第1章 現況と課題





# 第1章 現況と課題

## 1.地勢等

本市は、千葉県南東部に位置し、県庁所在地である千葉市から南に約50kmの位置にあります。

本市の西は鴨川市、東は御宿町、北はいすみ市と大多喜町に接しています。南は太平洋に面したリアス式海岸となっており、風光明媚な景勝地があり、400余年の歴史を持つ朝市は海産物の宝庫として広く知られています。また、市北西部は房総丘陵に属する海拔150～250mの丘陵性山地が広く分布し、平坦地の少ない地形です。

明治22年に町村制の施行により、勝浦村・豊浜村・清海村・上野村・総野村が生まれました。その後、町村合併促進法に基づき、昭和30年に勝浦町・興津町・上野村・総野村の4つの町村が合併し、昭和33年に県内18番目の市となりました。

本市の勝浦地区は城下町・漁業の町として栄え、興津地区は江戸時代において江戸と東北を結ぶ重要港として栄えました。特に、興津地区の鵜原では、大正初期に別荘地として人々に安らぎと感動を与え、親しまれてきました。

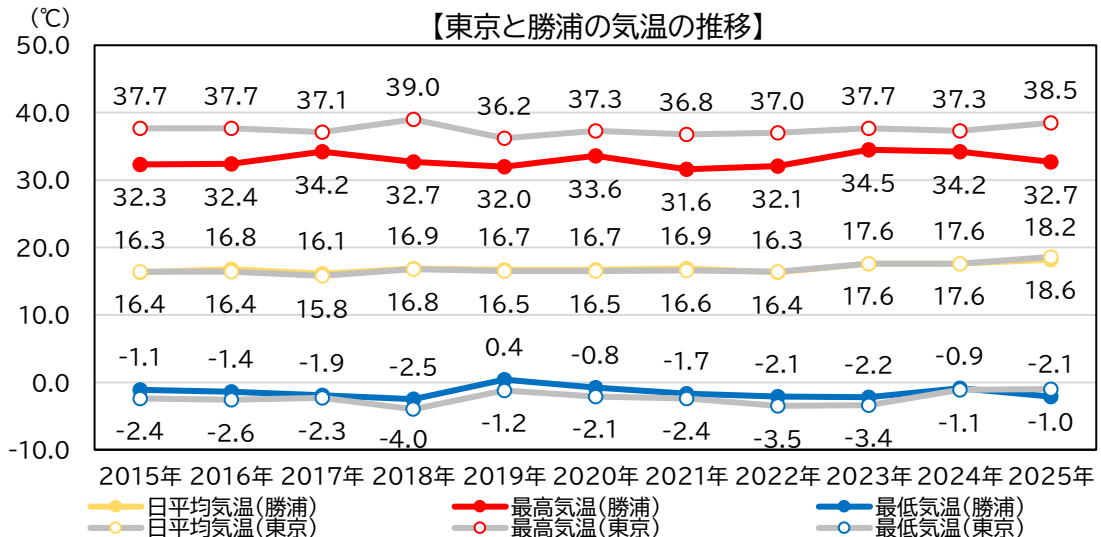
また、本市の沿岸部はその特有の地形や海風の影響により、東京と比較して最高気温が低くなっており、特に夏は海で冷やされた風が涼しく、冬は黒潮の影響もあり厳しい寒さになりにくい、1年を通じて温暖な気候となっています。

海にも里山にも恵まれた本市は、自然と触れ合えるスポットが多数あり、自然が創り出した景勝地や多種多様な海の生物が暮らす海中の世界、野や砂浜を彩る四季折々の植物を市内各所で見ることができ、勝浦ならではの自然の魅力にあふれています。

【勝浦市の位置】



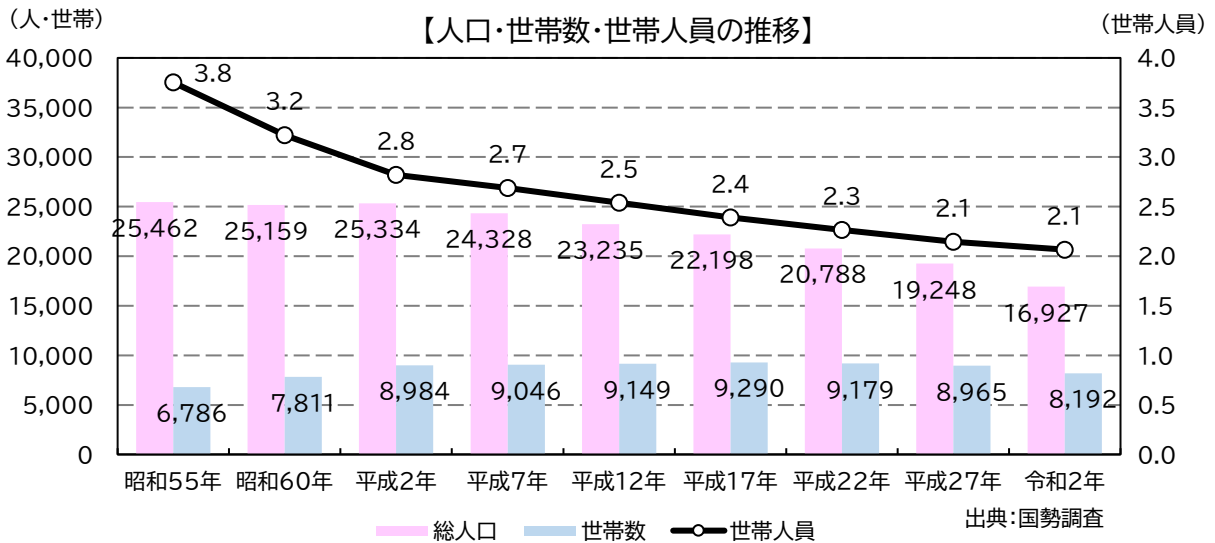
- 高規格道路（供用中）
- - - - 高規格道路（事業中・調査中）
- 一般広域道路（供用中）
- - - - 一般広域道路（事業中・調査中）
- 一般国道



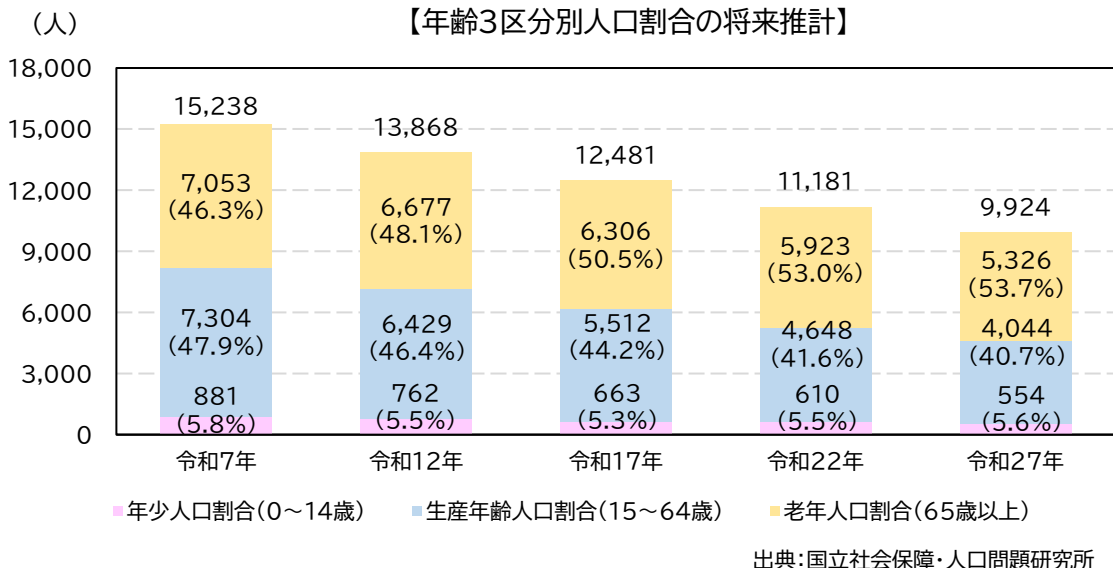
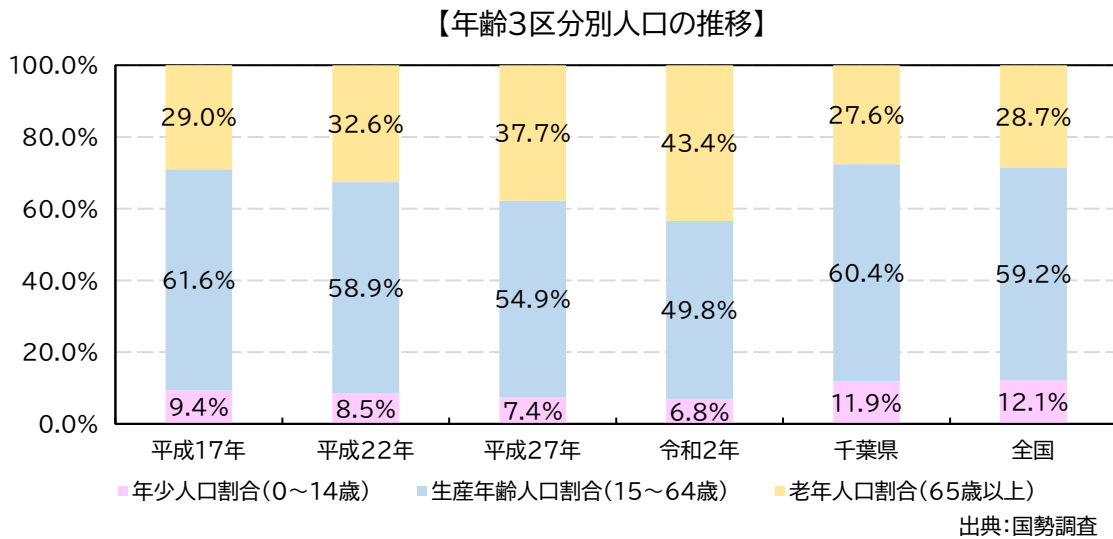
出典：気象庁ホームページ

## 2.人口・世帯数等

本市の人口は、令和2年で16,927人、8,192世帯となっています。昭和55年以降人口が減少傾向にあり、世帯数も平成17年以降は減少傾向にあり、1世帯当たりの人員も減少が続いています。



本市の年齢3区分別割合は、全国や千葉県と比較しても少子化と高齢化の進行が顕著です。特に、65歳以上の老年人口割合が増加しており、令和17年以降は50%以上になると推計されています。



### 3.人口移動等

令和2年の国勢調査結果をもとに、本市の就業者・通学者の状況をみると、流出が流入を上回っています。

本市から他都市へ通勤・通学する流出人口は3,031人、他都市から本市へ通勤・通学する流入人口は2,247人と784人の流出超過となっています。

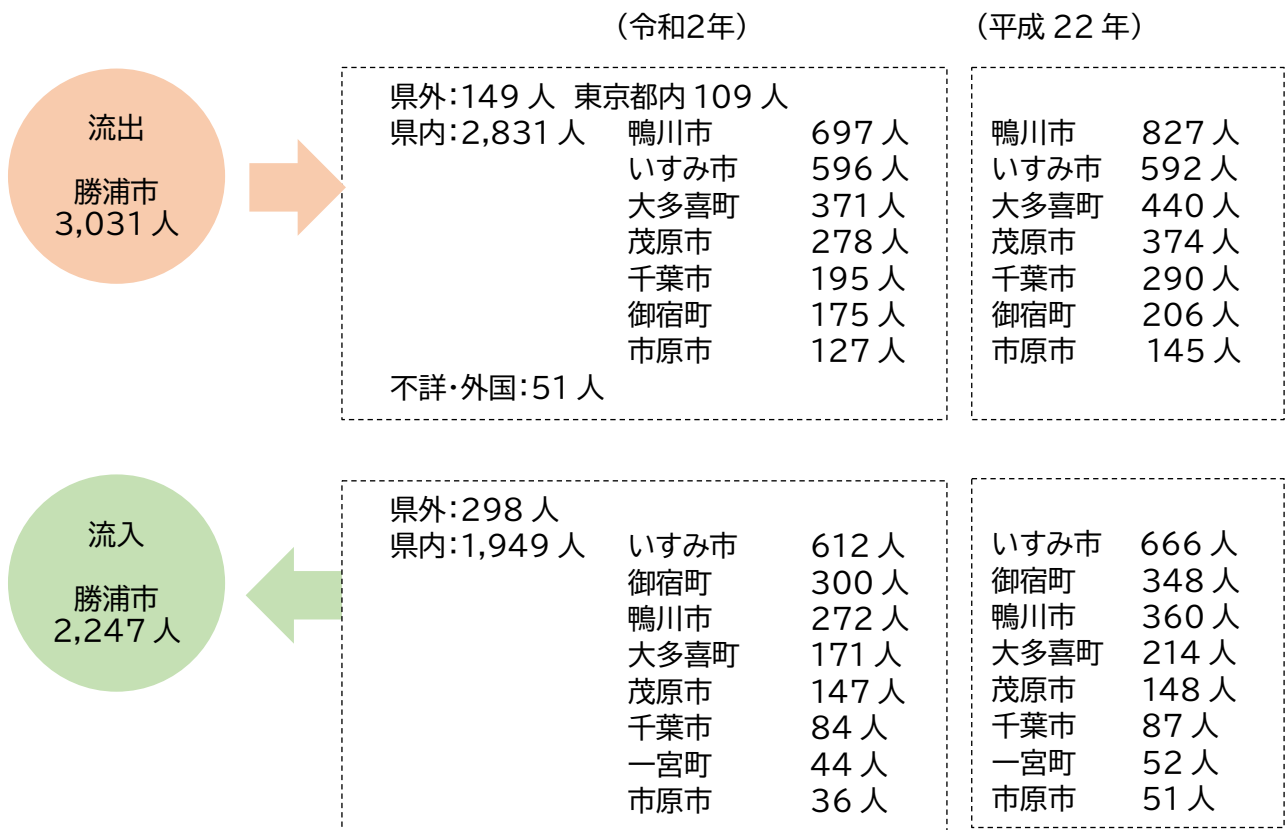
流出先は、鴨川市やいすみ市、大多喜町等の県内他市町村への流出が多くなっており、流入は、いすみ市や御宿町、鴨川市からの流入が多くみられます。

【就業者・通学所の状況(15歳以上の就業者・通学者)】

	①常住地による就業・通学者数(人)	流出		③従業地による就業・通学者数(人)	流入		就業・通学者比率【③/①】(%)
		②就業・通学者数(人)	流出率【②/①】(%)		④就業・通学者数(人)	流入率【④/③】(%)	
勝浦市	16,927	3,031	17.9%	16,194	2,247	13.9%	95.7%
千葉市	974,951	288,989	29.6%	956,669	265,148	27.7%	98.1%
茂原市	86,782	20,100	23.2%	82,590	15,582	18.9%	95.2%
いすみ市	35,544	7,598	21.4%	31,847	3,799	11.9%	89.6%
市原市	269,524	49,868	18.5%	256,438	35,396	13.8%	95.1%
鴨川市	32,116	2,935	9.1%	33,281	4,008	12.0%	103.6%

出典:国勢調査

#### ■流出・流入人口の状況



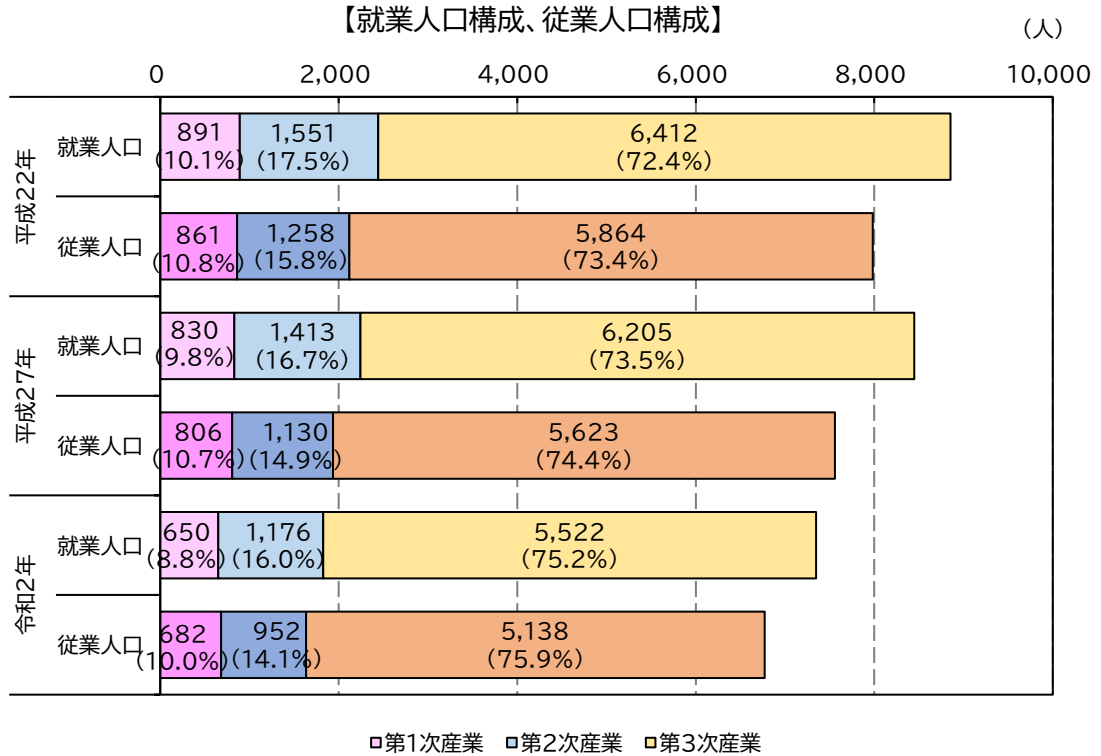
出典:国勢調査

## 4.産業

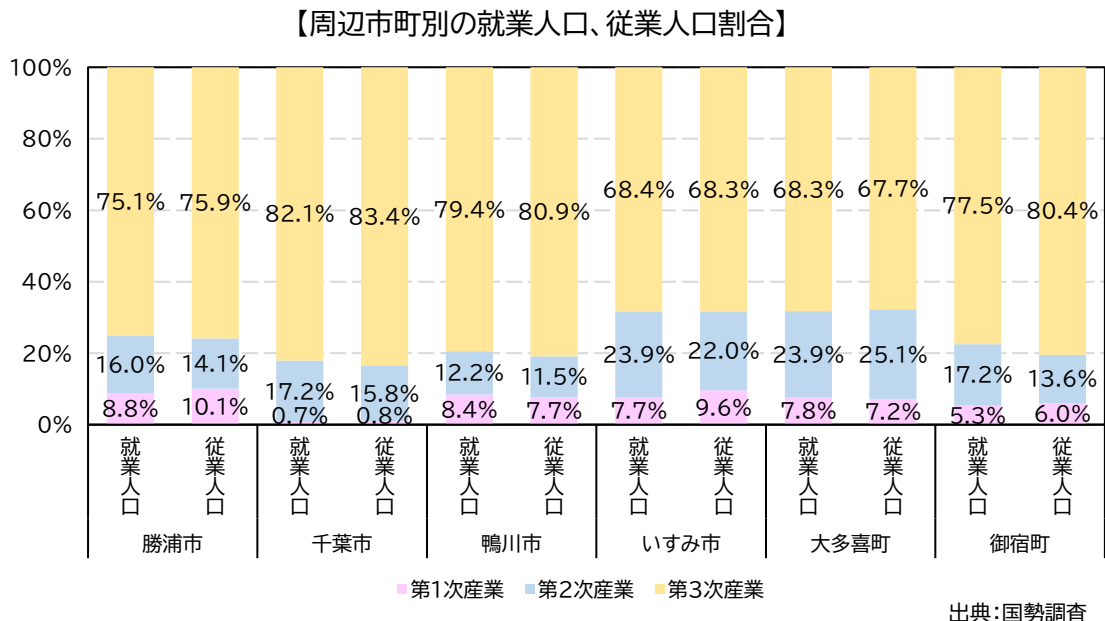
### 1)産業人口

本市の従業人口は、令和2年で6,772人、就業人口の92.2%(就従比)であり、576人の流出超過となっています。

10年前と比較すると、就業人口が約1,500人、従業人口が約1,200人減少しています。



周辺市町の産業別就業人口と従業人口の割合比較では、本市の第1次産業割合が10%程度と最も多く、第3次産業の割合は75%程度と隣接するいすみ市、大多喜町よりも割合が高くなっています。

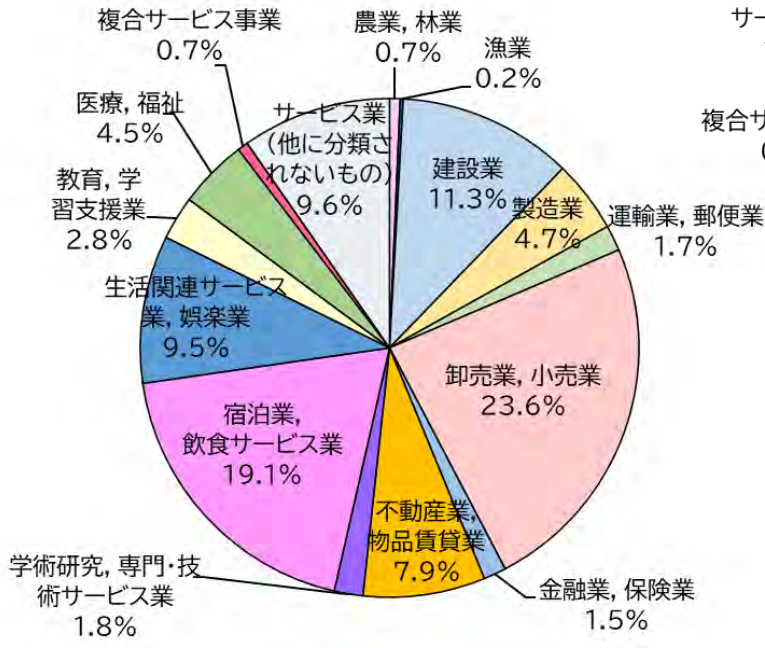


## 2) 事業所数

事業所数は、令和3年で卸売業、小売業が23.6%と最も多くを占め、次いで宿泊業、飲食サービス業が19.1%、建設業が11.3%と続いています。

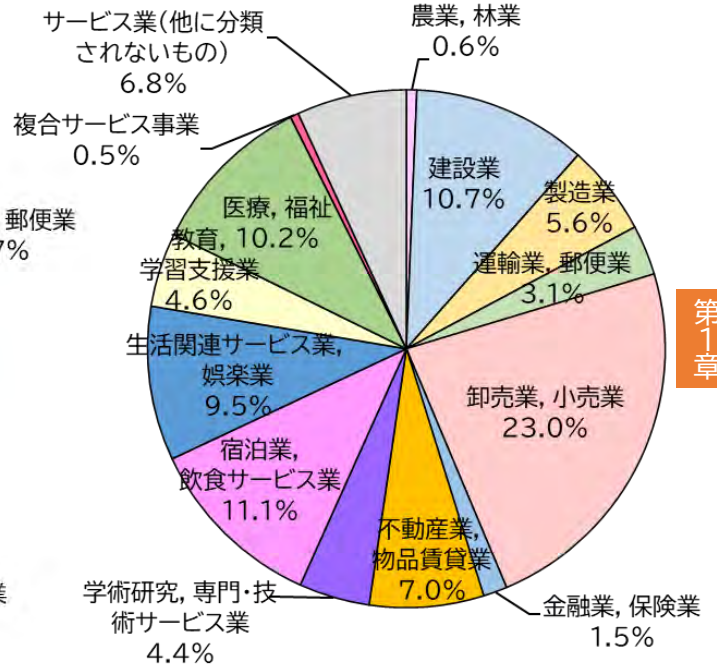
千葉県と比較すると宿泊業、飲食サービス業の割合が8%高くなっており、医療・福祉の割合が5%低くなっています。

【産業大分類別事業所数構成(令和3年勝浦市)】



出典:経済センサス

【産業大分類別事業所数構成(令和3年千葉県)】



出典:経済センサス



農業



漁業



飲食サービス業 (かつらう海中公園滞在型観光施設「Edén」)

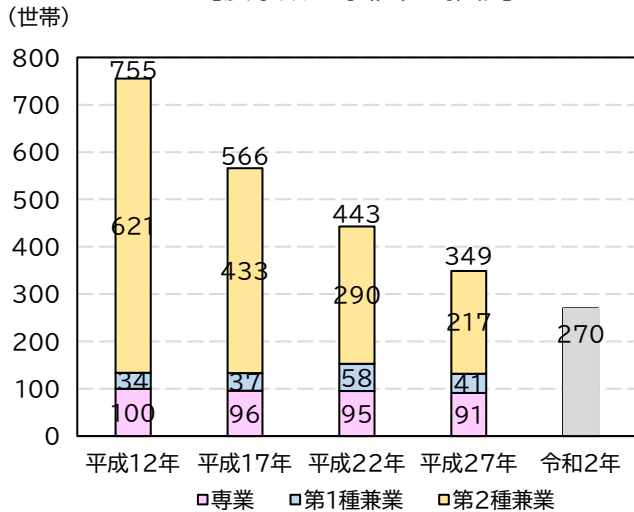


観光業

### 3) 農業

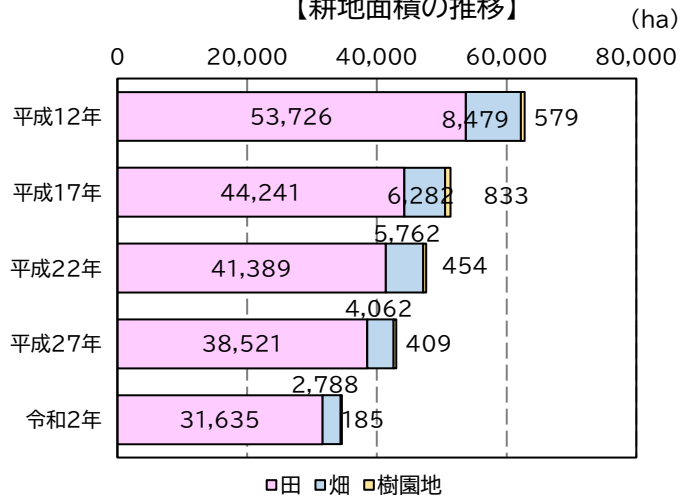
農家数は、20年前の約4割に減少しています。耕地面積は、田が9割近くを占める中、20年間で約221ha減少しています。それに伴い、主要作物である米の生産量も、減少しています。

【農家数と専兼業の推移】



出典：農林業センサス

【耕地面積の推移】

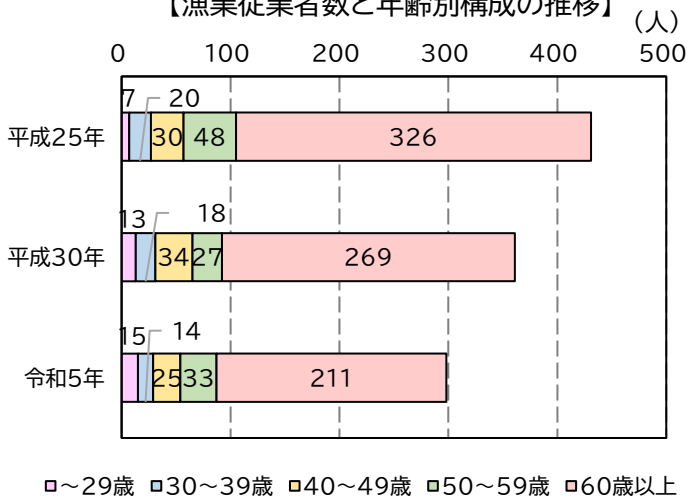


出典：農林業センサス

### 4) 漁業

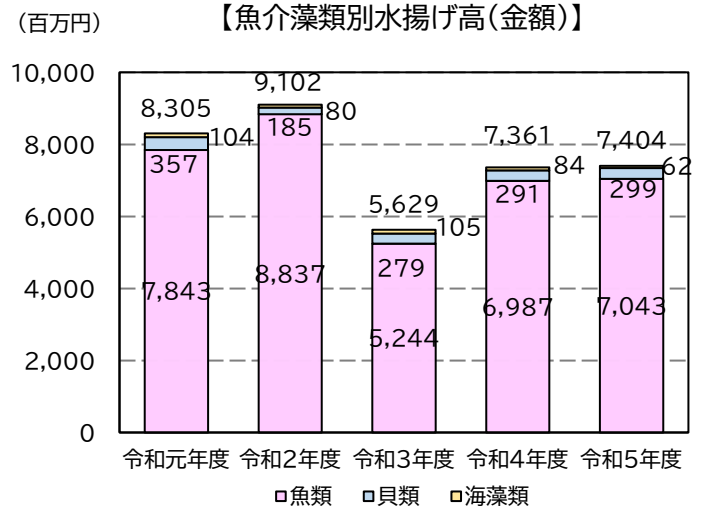
本市の基幹産業である漁業の従業者数は、10年前の約7割に減少しています。水揚げ高は令和3年度に減少し、令和4年度以降は横ばいで推移しています。

【漁業従業者数と年齢別構成の推移】



出典：漁業センサス

【魚介藻類別水揚げ高(金額)】

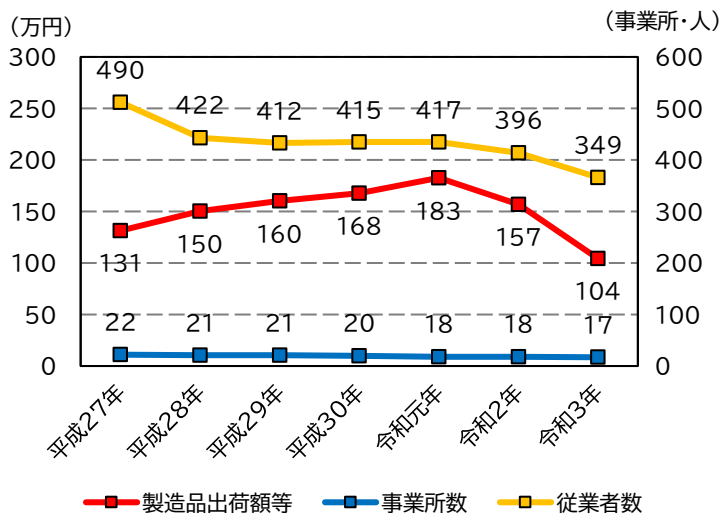


出典：数字で見る勝浦市の姿

## 5)工業

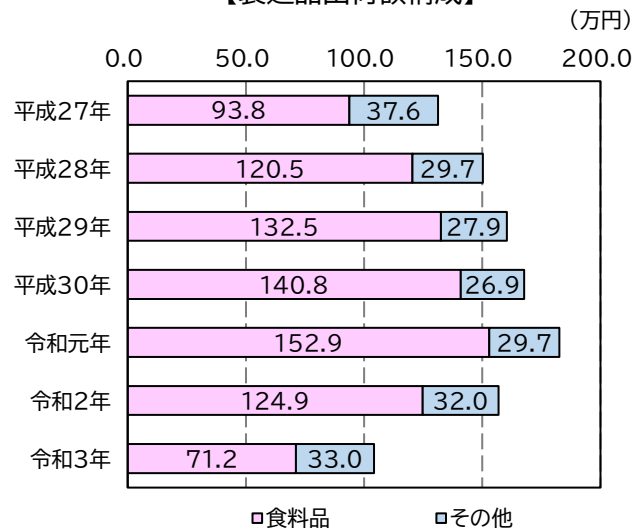
工業は、事業所数と従業者数は平成27年以降減少傾向にあり、製造品出荷額等は令和元年以降減少傾向となっています。製造品出荷額の内訳では、食料品製造業の割合が70～80%の間で推移しており、食料品製造業に特化する傾向にあります。令和元年以降減少傾向となっています。

【工業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等】



出典:工業統計調査

【製造品出荷額構成】

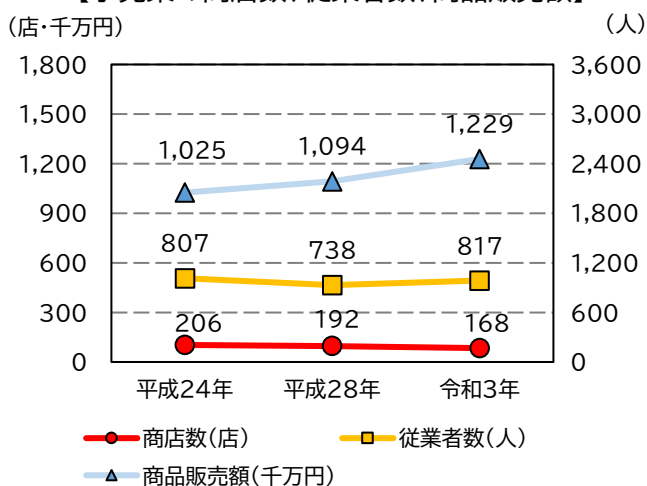


出典:工業統計調査

## 6)商業

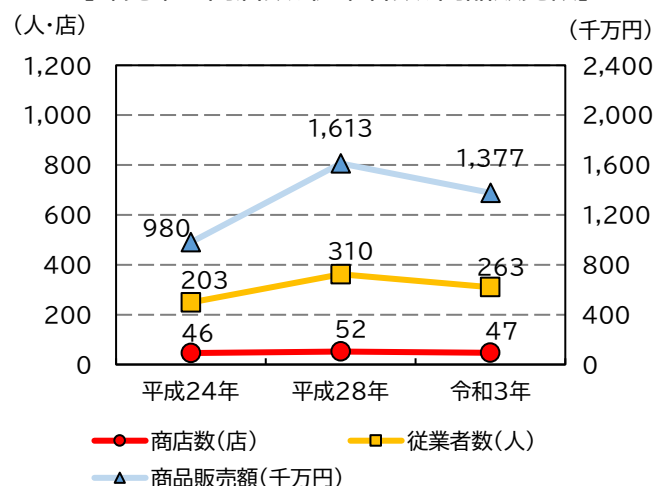
小売業は、平成24年以降の商品販売額は増加、従業者数は平成28年以降増加傾向となっています。また、卸売業では、商品販売額が平成28年に増加したものの、令和3年に減少しています。商店数と従業者数も平成28年に増加したものの、令和3年に減少しています。

【小売業の商店数、従業者数、商品販売額】



出典:経済センサス

【卸売業の商店数、従業者数、商品販売額】

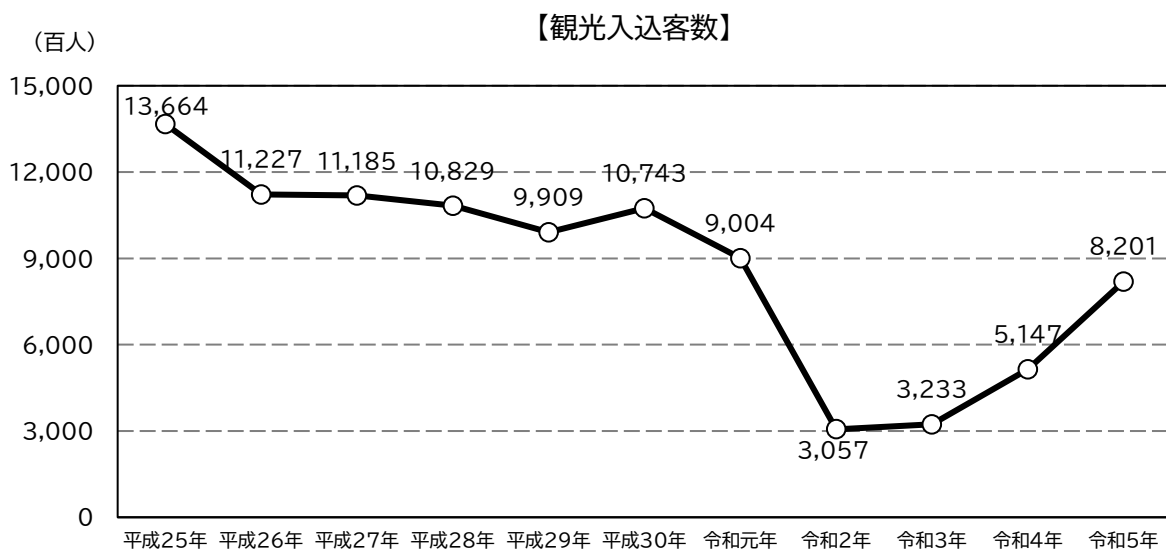


出典:経済センサス

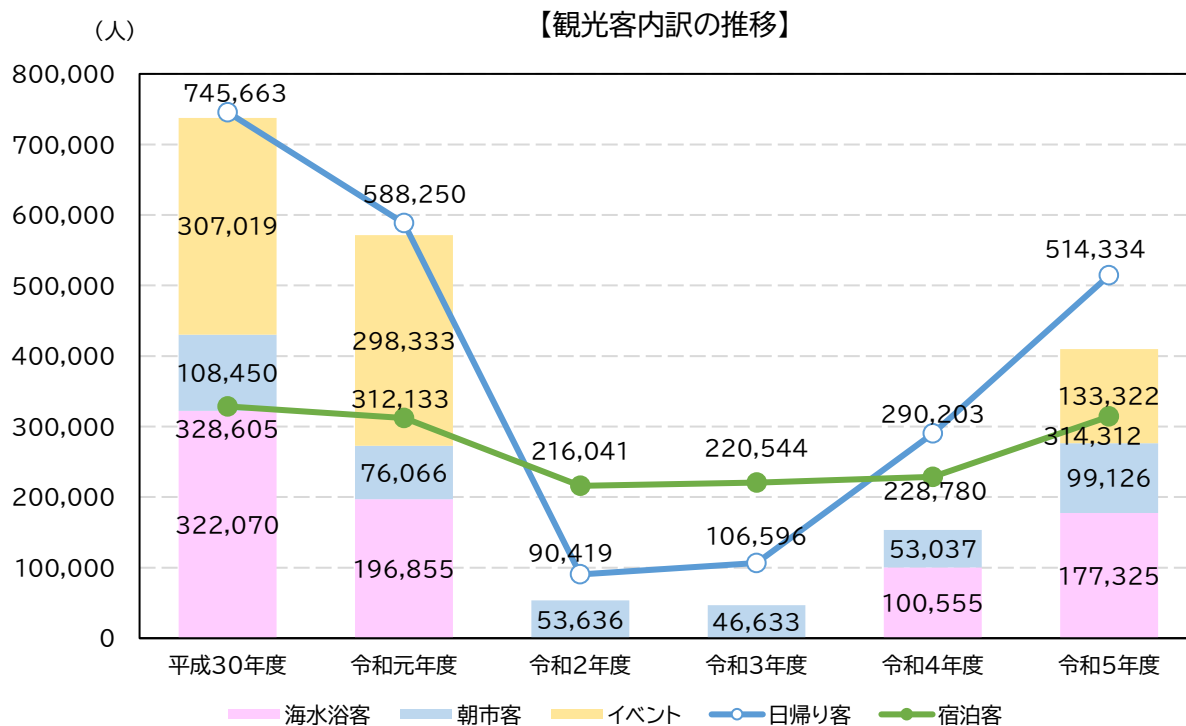
## 7)観光

本市は、観光資源・景観資源が豊かでイベントも盛んです。令和2年と令和3年においては新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、イベント等の中止が影響したことにより減少していましたが、令和4年以降は回復傾向にあります。

勝浦朝市をはじめ、観光業においても出店者の高齢化や後継者不足が懸念されており、またAfter/With コロナ時代に対応した新たなスタイルの観光への対応やニーズに合わせた観光コンテンツの変化への対応が求められます。



出典:千葉県観光入込調査報



出典:庁内データ

## 5.土地利用等

### 1)土地利用

千葉県のと和3年度の基礎調査の結果を見ると、本市の用途地域の指定面積500haのうち、約6割が都市的土地利用を占めています。また、用途地域外の面積3,555haのうち約8割が自然的土地利用を占めています。なお、用途地域と用途地域外のどちらにも荒地・耕作放棄地があり、土地の再生や利用等の適正な土地利用が求められます。

土地利用の分布状況を見ると、沿岸部の狭い平坦地に市街地と集落地が形成され、勝浦地区の勝浦駅東側、興津地区の興津駅南側及び興津久保山台地区に市街地の集積が見られます。

商業地は、主に勝浦地区の東側の平坦地と興津地区の国道128号沿道に形成され、工業地は勝浦漁港の魚市場周辺と総野地区の中心部近くに分布しています。

住宅地は、用途地域内の市街地を中心に集積していますが、用途地域外の国道128号及び国道297号沿道での建築活動も比較的多く、市街地(用途地域)外への分散化が見られます。

その他は、ほとんどが自然的土地利用となっており、夷隅川及び支川に沿って農地が細長く分布しているほかは、山林となっています。

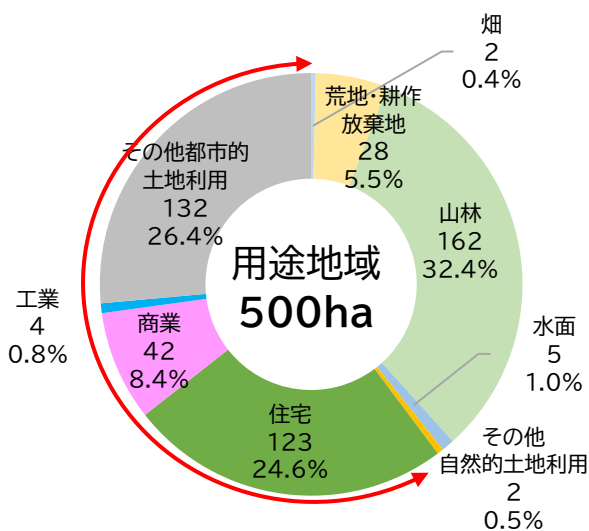
【区域区分別土地利用の状況】

(ha)

区分	面積	自然的土地利用						都市的土地利用			
		農地			山林	水面	その他自然地	住宅			その他都市的土地利用
		田	畑	荒地・耕作放棄地				住宅	商業	工業	
都市計画区域	4,055	134	68	370	2,400	38	59	336	77	13	560
用途地域	500	0	2	28	162	5	2	123	42	4	132
用途地域外	3,555	134	66	342	2,238	33	57	213	35	9	428

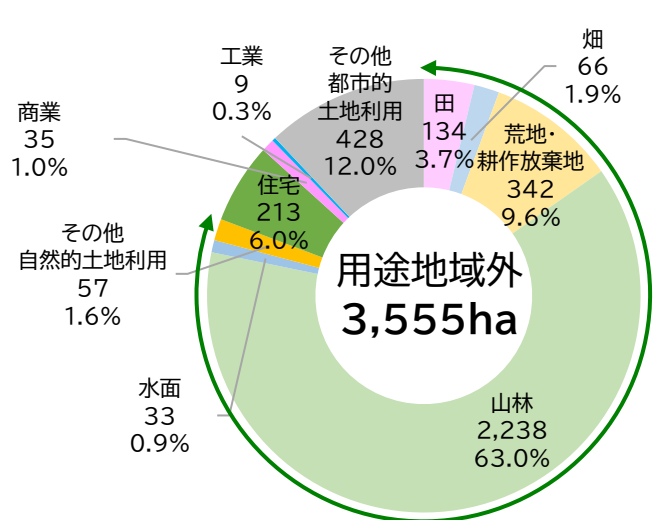
出典:千葉県 令和3年度都市計画基礎調査

【土地利用の状況(都市的土地利用)】



都市的土地利用 約6割

【土地利用の状況(自然的土地利用)】



自然的土地利用 約8割

## 2) 宅地開発

本市では、開発面積が5ha以上の大規模開発が、昭和49年～平成4年にかけて行われており、主な開発地として、勝浦地区の丘陵部における住宅地開発と国際武道大学、興津地区の丘陵部におけるミレーニア勝浦と東急リゾートタウン勝浦があり、平成22年以降は行われていません。

## 3) 法規制状況

本市は、市域9,396haの43%にあたる4,055haが都市計画区域(勝浦都市計画区域)に指定され、様々な都市計画が定められており、市域の5%にあたる500haに市街地(用途地域)が形成されています。

都市計画区域を見ると、用途地域は、勝浦地区と興津地区の2箇所に指定されており、商業地域が勝浦地区の中心市街地に指定、近隣商業地が商業地域の周辺及び興津地区の市街地部に指定されています。また、準工業地域が勝浦地区の臨海部の漁港周辺に指定されています。その他は住居系用途地域となっています。

なお、準工業地域に隣接する近隣商業地域や住居系用途地域を中心に特別用途地区(特別工業地区)が約28ha指定され、また、商業地域に準防火地域が約15ha指定されています。

地区計画が勝浦地区の若潮キャンパス地区に3.5ha指定されています。

### ■都市計画区域の指定状況

都市計画区域名称	都市計画区域	
	市域(ha)	面積(ha)
勝浦	9,396	4,055

### ■用途地域

都市計画区域名称	用途地域指定面積(ha)						
	1 低層	1 住居	2 住居	準住居	近商	商業	準工業
勝浦	114	220	89	16	30	15	16

### ■準防火地域

都市計画区域名称	当初決定年月日	面積(ha)
勝浦	H9.4.1	15

### ■地区計画

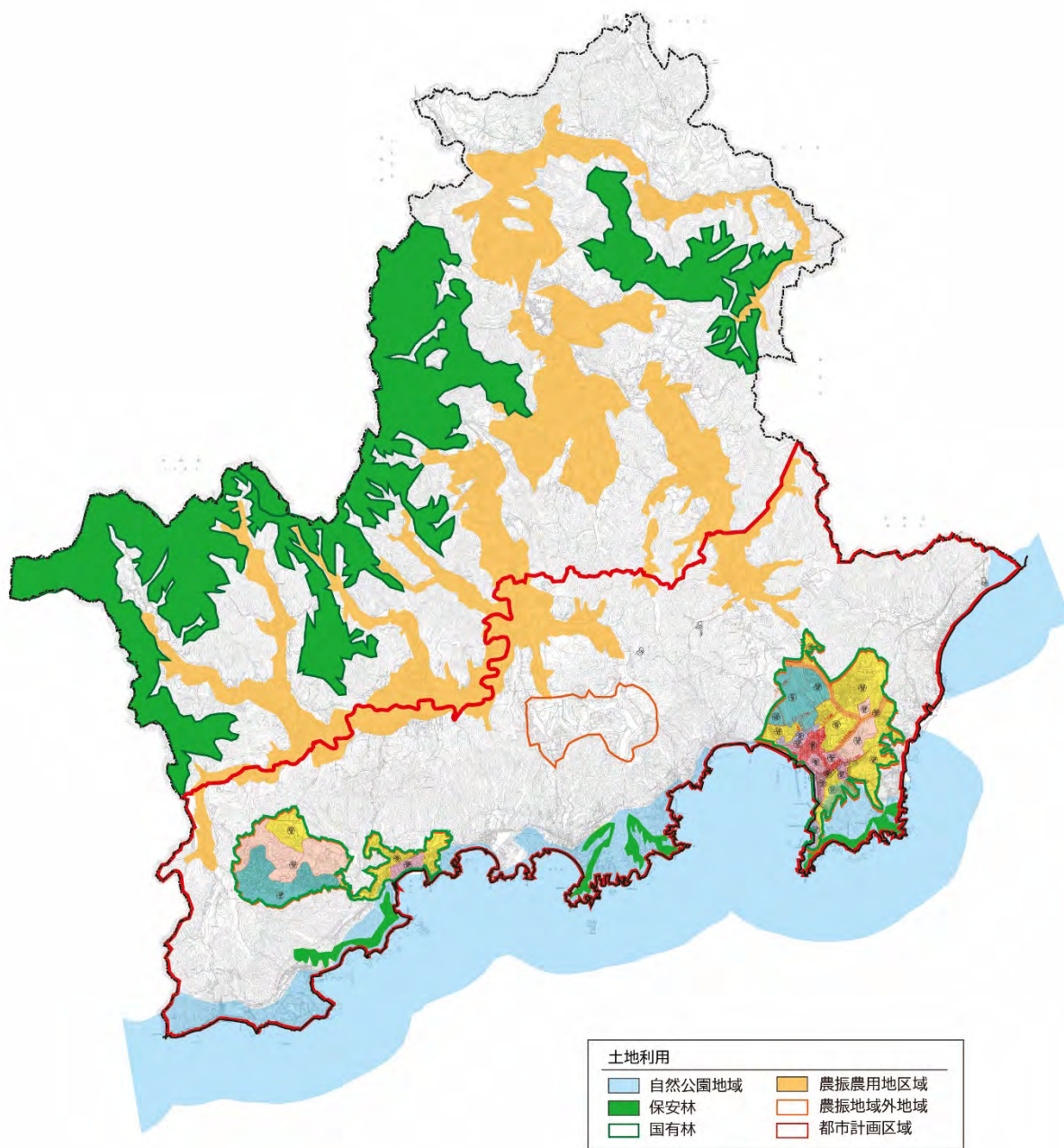
都市計画区域名称	名称	面積(ha)	計画決定年月日	目的
勝浦	若潮キャンパス地区	3.5	H29.03.17	良好な市街地形成及び地域活性化の形成

出典: 市内データ・都市計画現況調査(R6.3.31 現在)

市域のうち、用途地域内と東急リゾートタウン勝浦の区域及び国有林を除く区域が農業振興地域であり、そのうちの約20%が農用地区域となっています。

その他、海岸部の自然公園区域が国定公園の特別地域等に指定され、また、北部の国有林と沿岸部の一部樹林地が保安林に指定されています。

## 法規制状況図



## 6.都市施設等

### 1)幹線道路

本市の幹線道路網としては、海岸沿いを東西方向に走る国道128号と南北方向に千葉市方面を結ぶ国道297号を主軸として主要地方道天津小湊夷隅線と一般県道7路線及び幹線市道により幹線道路網が形成されています。

国道297号は、産業及び観光に重要な幹線道路であることから、夏季観光シーズンには観光交通を中心とした交通渋滞や事故が多発していました。このことから、観光交通による渋滞の解消、安全性・走行性の向上を目的とした地域交通条件の向上が期待される国道297号松野バイパスが計画され、平成31年3月に第2工区が開通しました。

国道・県道等の幹線道路の平日の交通量は、概ね減少傾向がみられ混雑度は低いですが、勝浦中心部では、夏季観光シーズンやイベント開催時を中心に休日の交通渋滞や交通事故が多く、混雑がみられます。

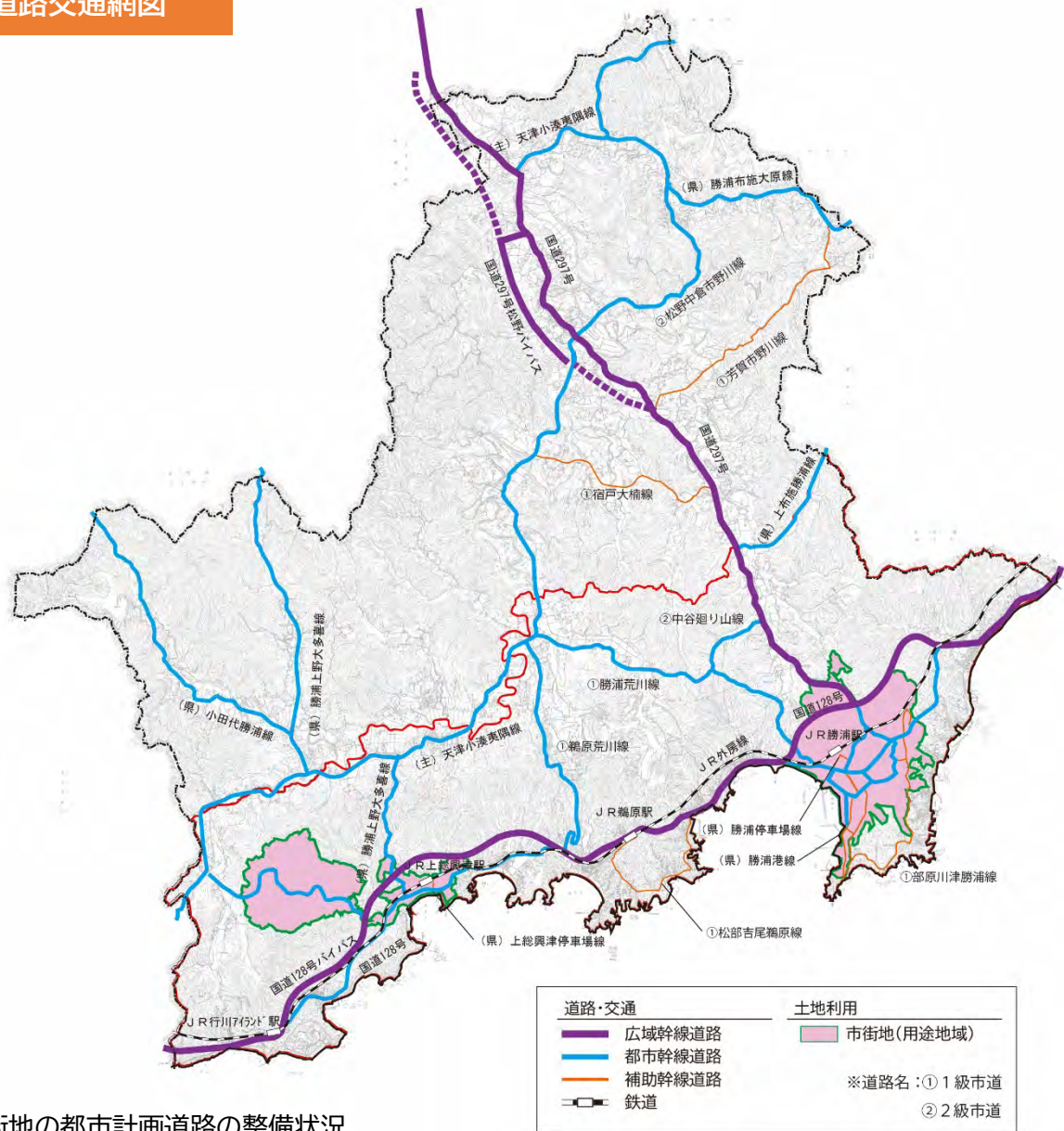
本市では、都市計画道路は12路線、総延長は9.6kmで整備率は18%と低くなっています。

#### ■都市計画道路

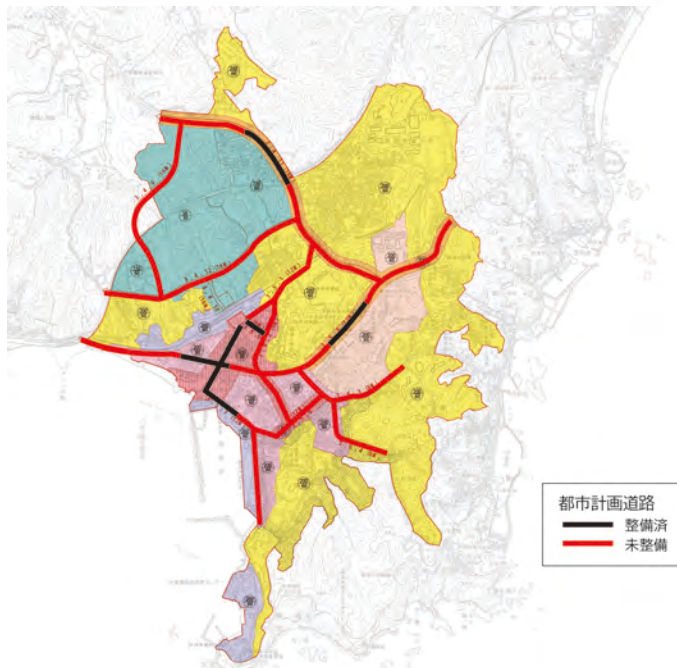
都市計画道路名称	計画(km)	改良済	決定日
3・5・1勝浦駅墨名線	0.54	－	S35.4.1 H 9.4.1
3・5・6勝浦浜勝浦線	0.42	－	S35.4.1 H 2.12.14
3・5・7勝浦駅浜勝浦線	1.15	0.69	S35.4.1 H 2.12.14
3・5・8串浜新官線	1.89	0.60	S35.4.1 H 9.4.1
3・6・2墨名勝浦線	0.67	－	S35.4.1 H 2.12.14
3・6・3出水新官線	0.63	－	S35.4.1 H 2.12.14
3・6・4勝浦沢倉線	0.44	－	S35.4.1 H 2.12.14
3・6・5勝浦駅前線	0.11	0.11	S35.4.1 H 2.12.14
3・4・9黒潮線	0.96	－	H 9.4.1
3・4・10勝浦北駅前線	0.18	－	H 9.4.1
3・4・11新坂線	1.50	0.31	H 9.4.1
3・4・12東西線	1.07	－	H 9.4.1
合計	9.56	1.71	

出典：庁内データ

# 道路交通網図



## 市街地の都市計画道路の整備状況



## 2)公共交通(鉄道・バス)

本市には、JR勝浦駅のほか3駅があり、利用者数は新型コロナウイルス感染症の拡大による外出制限等の影響もあったことから、令和2年度は減少しましたがその後は回復傾向にあります。

JR勝浦駅では、北口と南口の2箇所の駅前広場が都市計画決定しています。

### ■駅前広場

名称	計画(m <sup>2</sup> )	供用(m <sup>2</sup> )	計画決定年月日
JR勝浦駅(北口)	3,500	0	H9.4.1
JR勝浦駅(南口)	4,000	4,000	H2.12.14

### ■JR駅の日平均乗車人員の推移

(人)

名称	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
JR勝浦駅	946	585	661	765	810
JR上総興津駅	182	108	125	128	141
合計	1,128	693	786	893	951

出典:庁内データ・都市計画現況調査(R6.3.31 現在)

バス系統は、JR勝浦駅を中心に運行されるバス系統と高速バスの路線があります。

また、高齢化や免許返納による買い物や通院等の移動が困難な方の増加が見込まれる中、本市ではデマンドタクシーの運行や高齢者タクシー利用料助成事業を推進しています。

### ■高齢者タクシー利用状況(令和5年度)

地区	申請者(人)	利用人数(人)	利用者率
勝浦	655	385	58.78%
興津	276	108	39.13%
上野	79	33	41.77%
総野	109	40	36.70%
全体	1,119	566	50.58%

出典:庁内データ

## 3)公園・上下水道

公園は計画的開発地を中心に整備されていますが、市内には防災機能を有する都市公園がなく、公園の整備水準は3.48m<sup>2</sup>/人となっています。また、市民全体を対象とした総合的な公園は未整備です。

上水道は普及率が約98%であり、未普及地域については解消に向けて検討しています。

公共下水道(都市下水路)の整備状況は、100%となっています。

汚水処理は合併処理浄化槽等により処理され、普及率は59.4%となっています。

### ■都市下水路

地区	計画		供用	
	排水区域(ha)	管渠延長(m)	排水区域(ha)	管渠延長(m)
勝浦	307	2,780	307	2,780

出典:都市計画現況調査(R6.3.31 現在)

#### 4) 主な公共公益施設

公共公益施設は、勝浦地区の市役所周辺は、消防署・警察署など官公庁施設や病院・国際武道大学等の都市の核となる施設が集中立地しています。また、各地区の中心部にコミュニティ施設や小学校が立地し、高齢者福祉施設が勝浦、上野、総野地区に分散的に立地が見られます。そのほか、し尿処理施設とごみ処理施設、火葬場の状況は次のとおりです。

##### ■し尿処理施設

名称	敷地面積(m <sup>2</sup> )	処理能力(kℓ/日)
勝浦市衛生処理場	3,674.27	40

※令和8年3月閉鎖予定

##### ■ごみ処理施設

名称	敷地面積(m <sup>2</sup> )	処理能力(t/日)
勝浦市 クリーンセンター	10,145	35

##### ■火葬場

名称	敷地面積(m <sup>2</sup> )	処理能力(体/日)
かつうら聖苑	2,622.15	8

出典：庁内データ

#### 5) 観光施設

本市の主な観光地として、豊かな海によって形成される素晴らしい景観を望む「勝浦海中公園センター」や「守谷海水浴場」、房総の海の自然をテーマに展示している「海の博物館」、絶景を眺めながらスパを楽しむことができるかつうら海中公園滞在型観光施設「eden」等があります。

また、雄大な自然眺望を楽しめる「八幡岬公園」や「鵜原理想郷」や400余年の歴史を誇る「勝浦朝市」など、今後も海とまちと歴史の魅力あふれる観光地として地域の魅力向上が期待されます。

海を活かした海洋観光資源として、勝浦地区と興津地区において観光客が海を体験できるような体験型アクティビティ(ダイビング施設や SUP)等が数多くあります。黒潮と親潮が交わる勝浦市の海は、季節によって海流がせめぎ合い、水中景観や水中生物が入れ替わり、四季折々の楽しみが広がる海です。また、穏やかな青い海が特徴的なため、市民や観光客にフォトスポットとしても親しまれています。



ダイビング施設



SUP

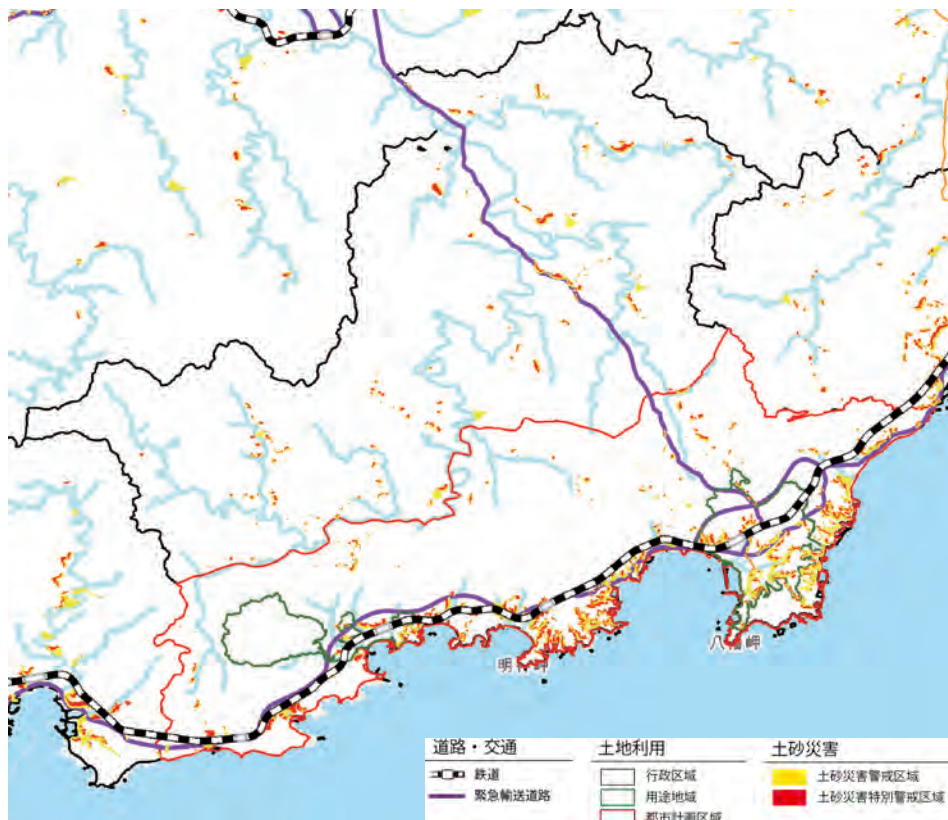
## 6)防災

東日本大震災を契機に見直された地域防災計画は、令和2年度に令和元年房総半島台風(台風15号)をはじめとする災害の教訓や新たな被害想定を踏まえた修正が行われました。

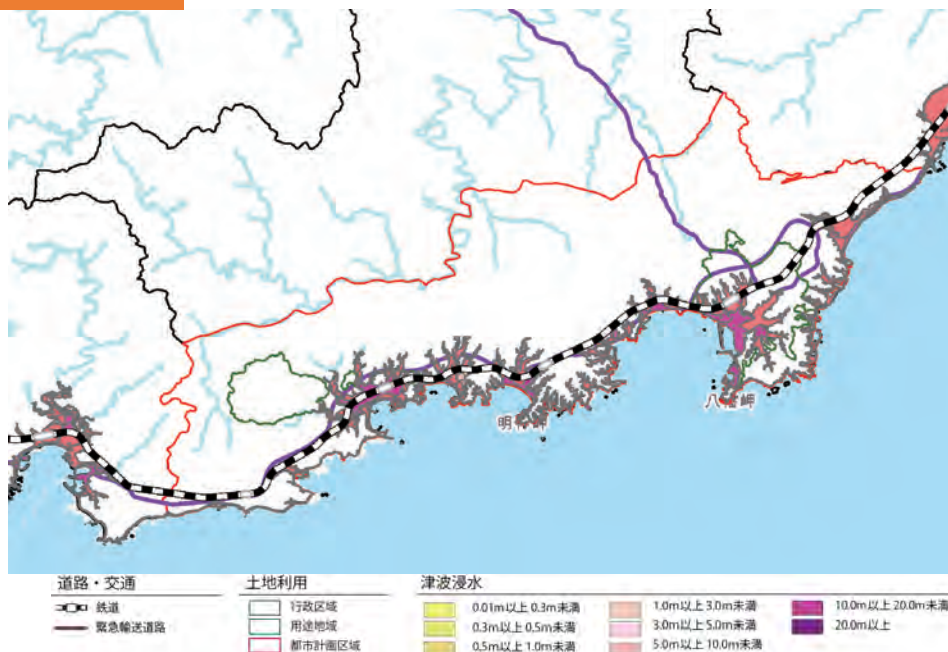
今後も引き続き防災対策の実施による災害に強いまちづくりが必要となっています。

本市は、海岸沿いの低地部と丘陵地から構成されており、市街地である沿岸部を中心に津波浸水や土砂災害の危険性のある箇所が多く指定されています。

土砂災害警戒区域等の指定状況図



津波浸水想定状況図



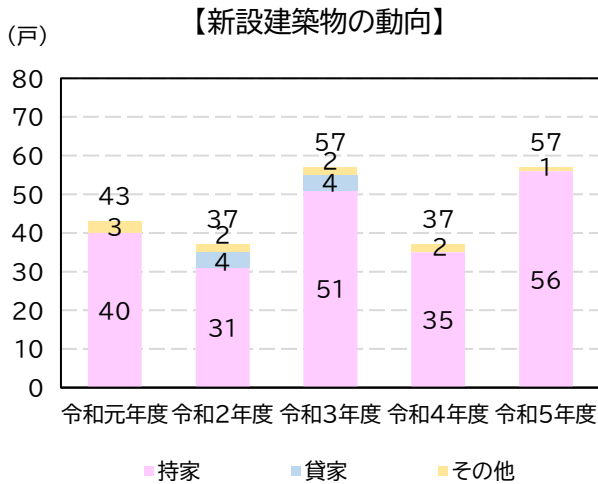
## 7)住まい

近年の建築動向は、持家を中心に年間50件程度が建築されています。

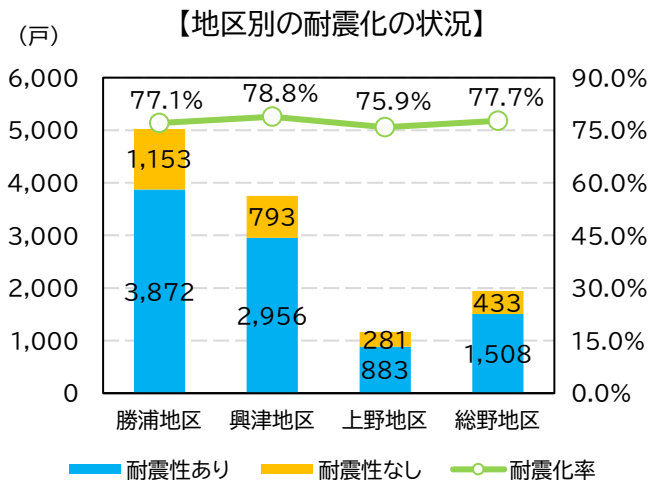
本市の地区別の耐震化率は、概ね77%程度となっています。本市は木造戸建て住宅が多いことから、耐震化率が低くなっています。

本市の空家率は、平成30年以降40%以上となっており、全国や千葉県、周辺市町の鴨川市やいすみ市と比較しても空家率が高くなっています。

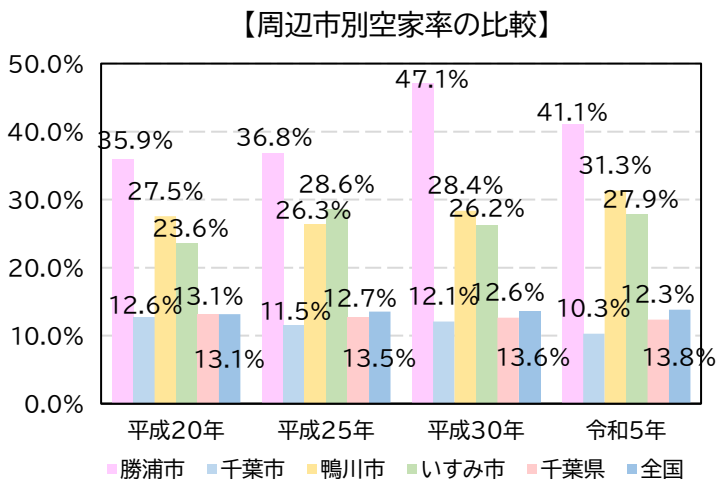
本市の空き家の内訳として、週末や休暇に利用する二次的住宅が最も多く、次いで大学生等が利用するアパート等の賃貸用の住宅が多くを占めています。



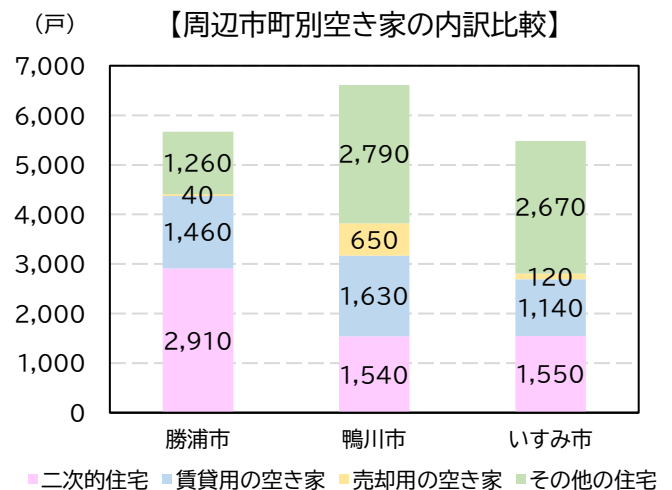
出典:建築着工統計



出典:勝浦市耐震改修促進計画



出典:各年住宅・土地統計調査



出典:令和5年住宅・土地統計調査

## 7.財政状況等

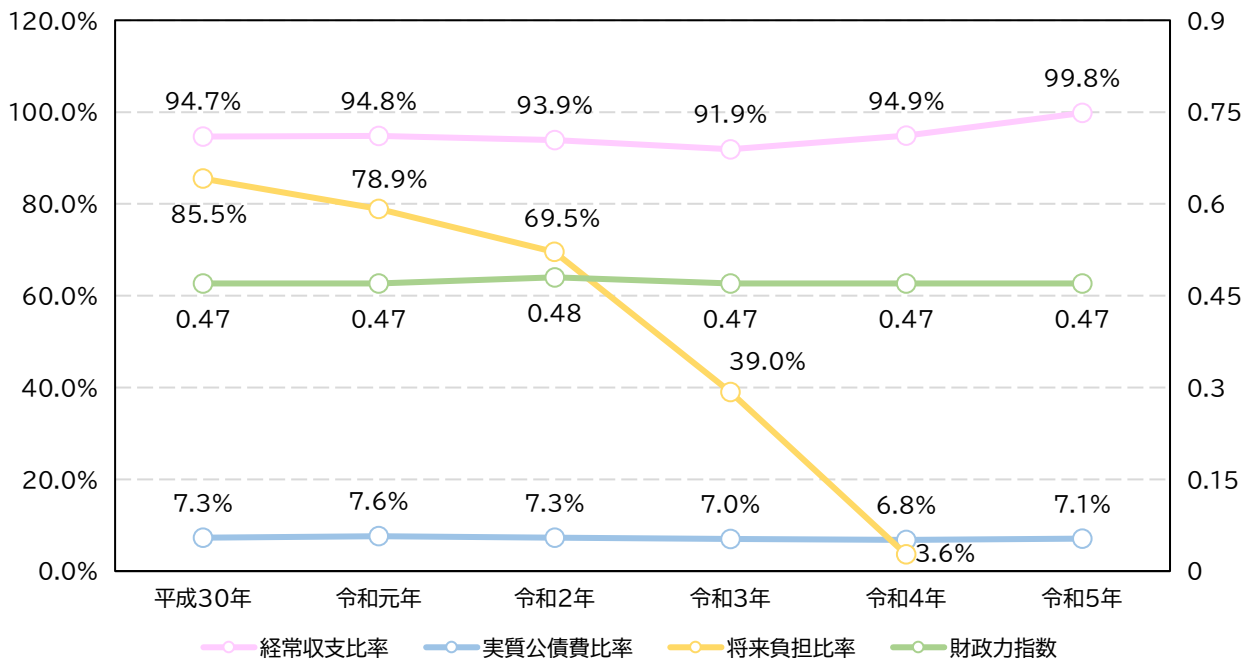
本市の経常収支比率は令和5年度で約99.8%と高くなっており、急な出費に対する柔軟な対応が厳しい状況にあります。また、実質公債費比率は約7%と健全な状態を維持しています。

財政力指数は直近6年間の推移をみると概ね0.47と現状維持の状況にあります。今後も人口減少と少子高齢化の進展により、厳しい状況が続くことが想定されます。

将来負担比率は減少傾向にあり、主な要因として、ふるさと応援基金が増加したことが想定されます。

今後は、引き続き歳入の確保に努めつつ、さらなるコスト削減等の推進を図り、健全な財政運営に努めます。

【財政状況】



- ※経常収支比率 …… 経常一般財源等のうち、人件費や扶助費、公債費など経常的に支出される経費が占める割合
- ※実質公債費比率 …… 地方公共団体の借入金(地方債)返済額(公債費)の大きさを、指標化した割合
- ※将来負担比率 …… 地方公共団体の一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率
- ※財政力指数 …… 地方公共団体の財政力を示す指数

出典:庁内データ

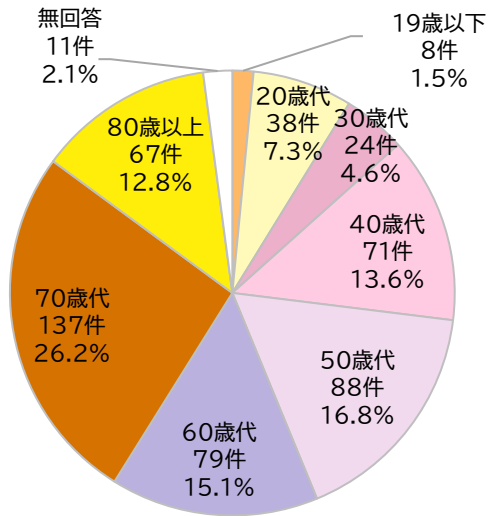
## 8.市民意向調査

### 1)市民意向調査(アンケート調査)の概要

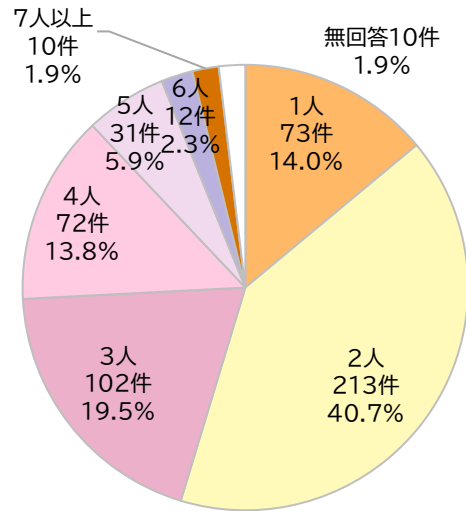
都市づくりに関する市民の意向を調査しました。

- 調査対象:18歳以上の住民の中から無作為抽出した1,500人を対象
- 調査方法:郵送による配布・回収、Google フォームによる web 回答
- 調査期間:令和7年2月7日～3月7日
- 回収率:34.9%(郵送回収:455通、web:68回答)

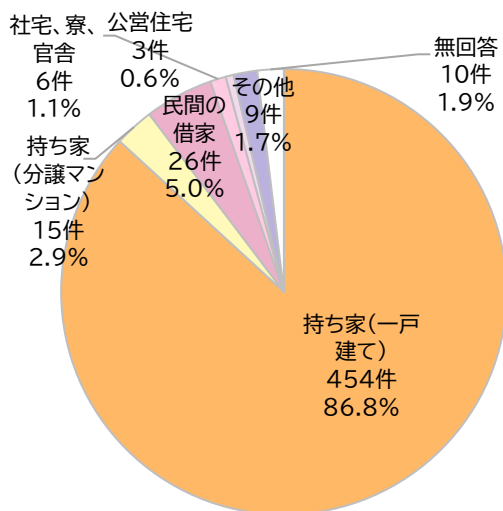
【年齢】



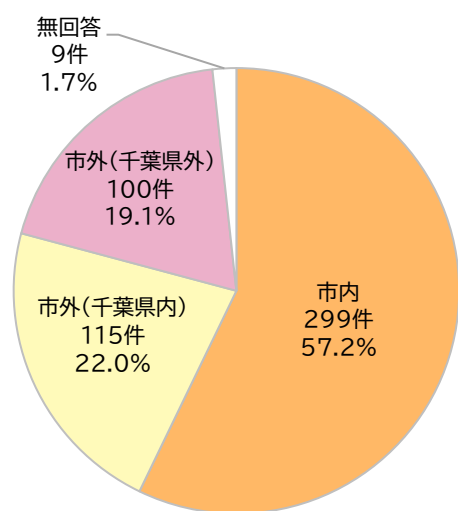
【世帯人数】



【住まい】



【出身地】

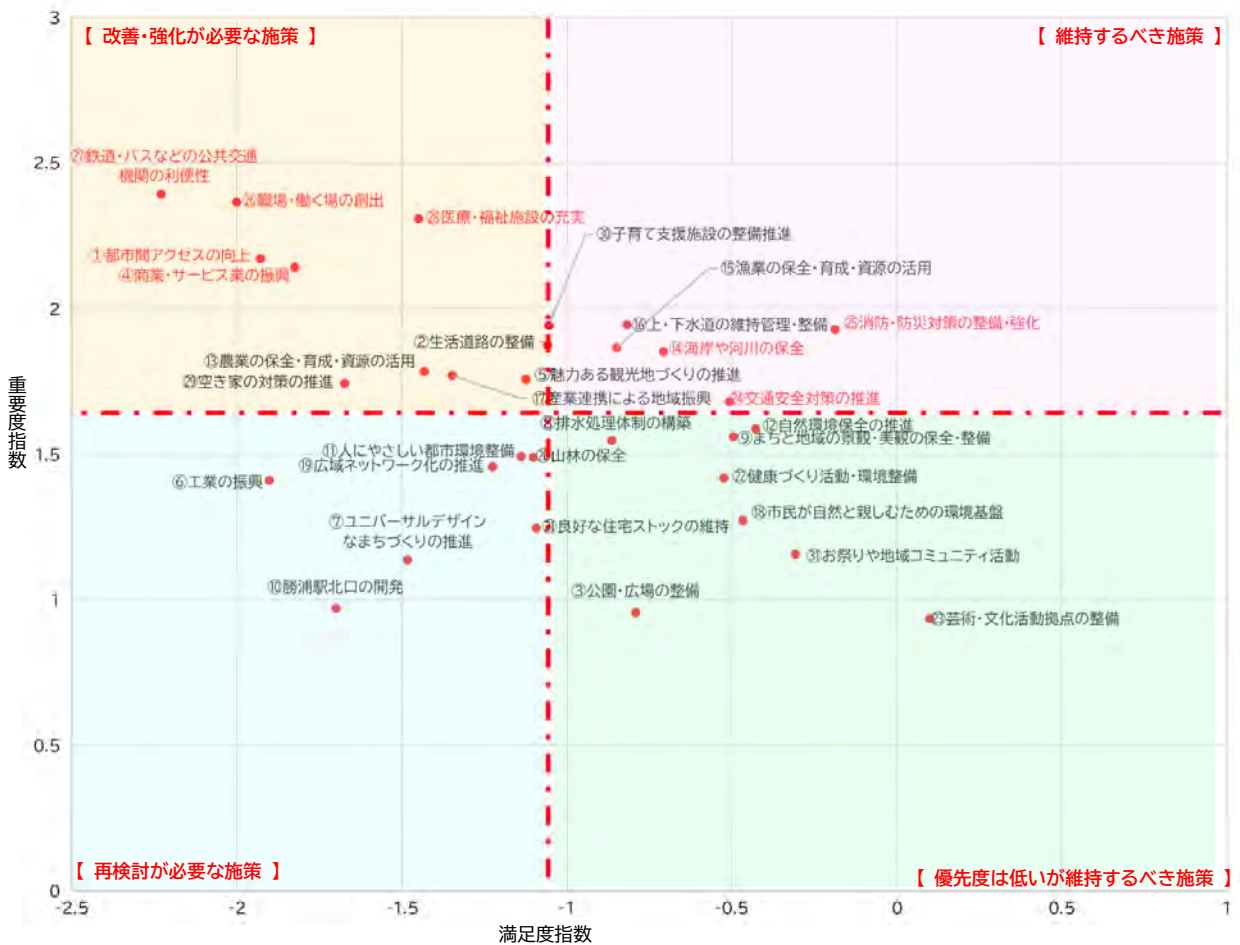


## 2) 市民意向調査結果の概要

本市のまちづくりに対する現状の満足度と重要度を表した図となります。

満足度と重要度ともに評価が高い【維持すべき施策】は、⑮消防・防災対策の整備・強化、⑳交通安全対策の推進、⑭海岸や河川の保全の順となっています。防災や交通安全、海岸保全、上・下水道等の都市のインフラ整備に関するものが中心となっています。

次に重要度が高く、満足度が低い【改善・強化が必要な施策】は、㉑鉄道・バスなどの公共交通機関の利便性、㉒職場・働く場の確保、①都市間アクセスの向上の順となっています。本市の今後の課題として市民が気にかけている施策は、公共交通や働く場の確保、都市間アクセス、商業・サービスの充実、医療・福祉の充実等の問題が結果として表れています。



今回のアンケートでは、本市の現況を踏まえ、新たに6項目を追加しました。

①都市間アクセスの向上	②生活道路の整備	③公園・広場の整備	④商業・サービス業の振興
⑤魅力ある観光地づくりの推進	⑥工業の振興	⑦ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	⑧排水処理体制の構築
⑨まちと地域の景観・美観の保全・整備	⑩勝浦駅北口の開発	⑪人にやさしい都市環境整備	⑫自然環境保全の推進
⑬農業の保全・育成・資源の活用	⑭海岸や河川の保全	⑮漁業の保全・育成・資源の活用	⑯上・下水道の維持管理・整備
⑰産業連携による地域振興	⑱市民が自然と親しむための環境基盤	⑲広域ネットワーク化の推進	⑳山林の保全
㉑良好な住宅ストックの維持	㉒健康づくり活動・環境整備	㉓芸術・文化活動拠点の整備	㉔交通安全対策の推進
㉕消防・防災対策の整備・強化	㉖職場・働く場の確保	㉗鉄道・バスなどの公共交通機関の利便性	㉘医療・福祉施設の充実
㉙空き家の対策の推進	㉚子育て支援施設の整備推進	㉛お祭りや地域コミュニティ活動	

質問項目	質問及び回答結果(上位3項目を記載)	
勝浦市の将来像	<p>勝浦市が将来どんなまちになったら良いですか？</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 買い物など日常生活が便利なまち(224件44%)</li> <li>2. 普段の移動(通勤・通学・通院など)が快適で、交通の便がよいまち(192件38%)</li> <li>3. まちの魅力(歴史・自然資源など)を活かした観光産業が盛んなまち(86件17%)</li> </ol>	
居住地域の将来イメージ	お住まいの地域について、将来どのようなイメージの場所になったら良いですか？	
	<p><b>勝浦地域</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 買い物や通院などの利便性の良い地域(95件39%)</li> <li>2. 子どもや高齢者が安心して暮らせる地域(37件15%)</li> <li>3. 災害に強く安全・安心に暮らせる地域(28件11%)</li> </ol>	<p><b>興津地域</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 買い物や通院などの利便性の良い地域(48件42%)</li> <li>2. 子どもや高齢者が安心して暮らせる地域(23件20%)</li> <li>3. 災害に強く安全・安心に暮らせる地域(18件16%)</li> </ol>
	<p><b>上野地域</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 買い物や通院などの利便性の良い地域(24件34%)</li> <li>2. 子どもや高齢者が安心して暮らせる地域(15件21%)</li> <li>3. 災害に強く安全・安心に暮らせる地域(12件17%)</li> </ol>	<p><b>総野地域</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 買い物や通院などの利便性の良い地域(31件39%)</li> <li>2. 子どもや高齢者が安心して暮らせる地域(10件13%)</li> <li>3. 災害に強く安全・安心に暮らせる地域(9件11%)</li> </ol>
	お住まいの地域について、特に望まれていることは何ですか？	
	<p><b>勝浦地域</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公共交通(鉄道・バス等)の充実(125件51%)</li> <li>2. 働く場の充実(101件41%)</li> <li>3. 防犯・防災対策(72件29%)</li> </ol>	<p><b>興津地域</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公共交通(鉄道・バス等)の充実(72件63%)</li> <li>2. 防犯・防災対策(44件38%)</li> <li>3. 働く場の充実(25件22%)</li> </ol>
	<p><b>上野地域</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公共交通(鉄道・バス等)の充実(37件52%)</li> <li>2. 働く場の充実(26件37%)</li> <li>3. 道路の整備(22件31%)</li> </ol>	<p><b>総野地域</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公共交通(鉄道・バス等)の充実(45件56%)</li> <li>2. 働く場の充実(26件33%)</li> <li>3. 良好な農地の保全(22件28%)</li> </ol>

質問項目	質問及び回答結果(上位3項目を記載)
今後の 土地利用	<p>今後の住宅地の開発について、どのようなことを望まれますか？</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 空き家バンクを活用して、空き家を居住として活用する(238件46%)</li> <li>2. わからない(84件16%)</li> <li>3. 駅周辺への住宅建設を促進する(41件8%)</li> </ol>
	<p>今後の商業系の土地の利用について、どのようなことを望まれますか？</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幹線道路沿いに、スーパーやホームセンターなどの立地を誘導(237件46%)</li> <li>2. 住宅地や集落地に、日常的に利用する商店などの立地を誘導(90件17%)</li> <li>3. 中心市街地の商業を活性化(66件13%)</li> </ol>
	<p>今後の工業系の土地の利用について、どのようなことを望まれますか？</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 農水産物を加工する企業などの立地を誘導(242件46%)</li> <li>2. わからない(147件28%)</li> <li>3. 今のままで良い(53件10%)</li> </ol>
	<p>今後の農地の土地の利用について、どのようなことを望まれますか？</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 遊休農地、耕作放棄地の市民・観光農園としての利活用(229件44%)</li> <li>2. まとまった優良農地の保全・活用(145件28%)</li> <li>3. 住宅地や工業用地等に転用(64件12%)</li> </ol>
都市施設 の整備に ついて	<p>道路整備や交通のあり方について、勝浦市全域にどのようなことを望まれますか？</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 鉄道・バス等の公共交通の充実(220件23%)</li> <li>2. 広域的な幹線道路の整備(160件17%)</li> <li>3. 歩行者や自転車の安全な通行のための道路整備(歩道の設置等)(129件14%)</li> </ol>
	<p>公園・緑地の整備について、勝浦市全域にどのようなことを望まれますか？</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 観光客が憩える場の整備(157件30%)</li> <li>2. 森林や海岸等の自然を活かした公園の整備(149件29%)</li> <li>3. 都市防災の避難地となる公園の防災機能の向上や整備(146件28%)</li> </ol>
	<p>勝浦市の中心部に必要な施設、または無くなると困る施設としてあてはまるものはありますか？</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病院・診療所(448件86%)</li> <li>2. 小売店舗(大規模商業施設等)(225件43%)</li> <li>3. 銀行、信用金庫等(208件40%)</li> </ol>
防災につ いて	<p>災害に対する備えとしてどのようなことをしておけばよいと思われますか？</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 避難地・避難路の整備(257件49%)</li> <li>2. 狭い道路の整備・解消(207件40%)</li> <li>3. 建築物の不燃化・耐震化(152件29%)</li> </ol>
観光まち づくり について	<p>地域の資源を活かした観光まちづくりについて重要な取り組みは何ですか？</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自然環境を活かした施設の整備や活動(261件51%)</li> <li>2. 地域資源を結ぶ道路、公共交通機関の充実(173件34%)</li> <li>3. 朝市を中心とした朝型観光の推進(158件31%)</li> </ol>

### 3)勝浦市のまちづくりに関するアンケート(中学生)の概要

勝浦市のまちづくりについて勝浦市内の中学生に向けて調査しました。

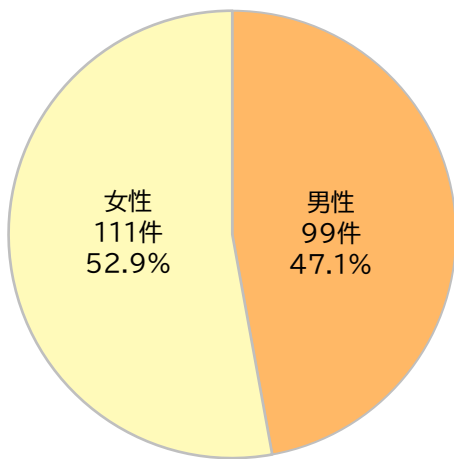
○調査対象:勝浦市内の中学生237人を対象

○調査方法:Google フォームによる web 回答

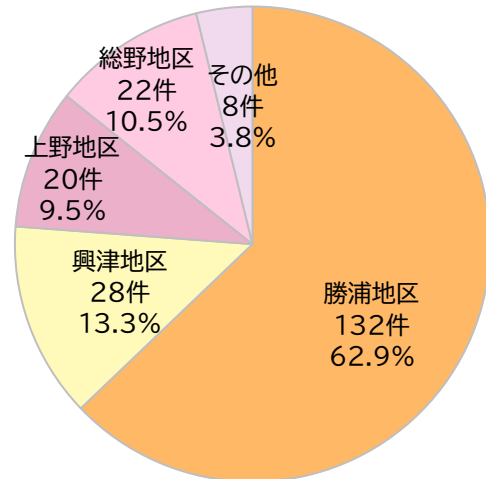
○調査期間:令和7年4月7日～5月9日

○回 収 率:88.6%(回答者210人、未回答者27人)

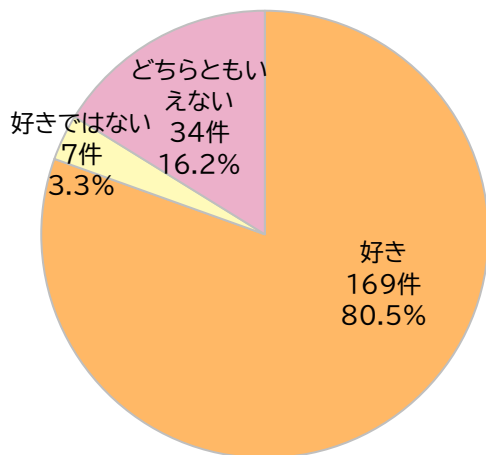
【性別】



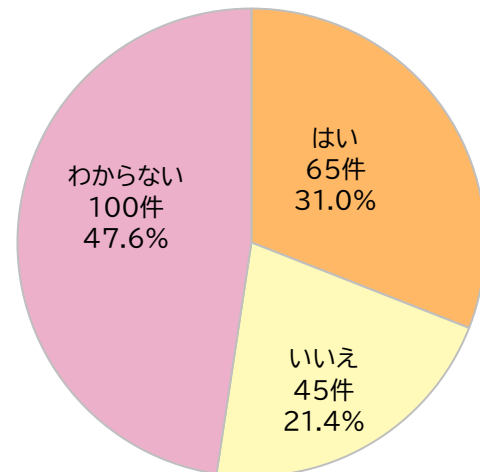
【居住地区】



【勝浦市に対する気持ち】



【勝浦市内の居住意向】



質問項目	質問及び回答結果(上位3項目を記載)
勝浦市の良いところ・自慢できるところ	勝浦市の良いところ、自慢できるところを教えてください。 1. 海(97件) :海がきれい、海が近い等 2. 特産品(59件):勝浦タンタンメン、鰹等 3. 自然(51件) :自然が豊か等
勝浦市の良くないところ・直した方が良いところ	勝浦市の良くないところ、直した方が良いところを教えてください。 1. 遊び場(54件) :子どもたちの遊び場が少ない等 2. 商業・商業施設(45件):商業施設(スーパー等)が少ない等 3. 交通利便性(16件) :電車の本数が少ない、交通のアクセスが悪い等
勝浦市に住み続けたい理由	勝浦市に住み続けたいと思った理由としてあてはまるものは？ 1. 自然や緑が豊かだから(24件37%) 2. 生まれ育った町だから(22件34%) 3. 人や土地柄が好きだから(6件9%)
勝浦市に住み続けたくない理由	勝浦市に住み続けたくないと思った理由としてあてはまるものは？ 1. 将来働ける場所やまちの魅力が少ない(43件30%) 2. 買い物ができる店舗が少ない(32件22%) 3. 遊べる場所が少ない(30件21%)
20年後の勝浦市の理想像	20年後の勝浦市は、どんなまちになってほしいと思いますか？ 1. 市民が気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーション施設の整備されたまち(90件43%) 2. 観光施設や宿泊施設の整備された、観光に人気のあるまち(68件32%) 3. 商業施設の整備された、買い物に便利なまち(63件30%)
今後のまちづくりに向けたアイデア	将来の勝浦市がより良いまちとなるために、今後どのようなことに取り組みばよいか？ 1. 遊び場(32件) :子どもたちが遊べる場所や施設の整備等 2. 商業・商業施設(27件):店舗を増やしてほしい、近くにお店がほしい等 3. 観光業(13件) :地域イベントの開催、観光施設等の増設等

#### 4)観光客の皆さんに対するアンケートの概要

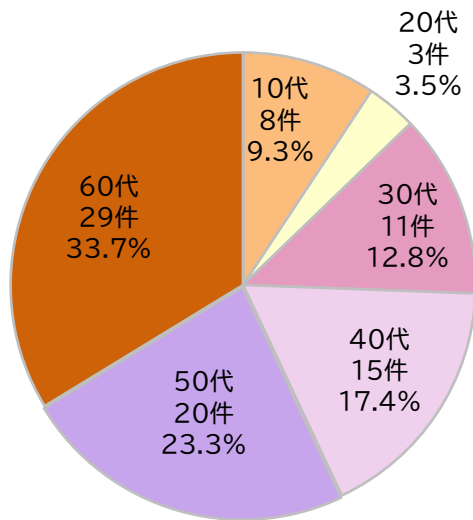
勝浦市に訪れた観光客に向けて調査しました。

○調査方法:紙面での配布・回収、Google フォームによる web 回答

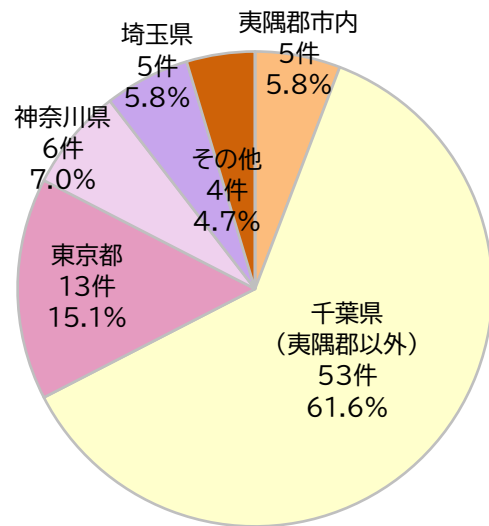
○調査期間:令和7年2月20日～5月30日

○回収数:86通(紙面67通、web19通)

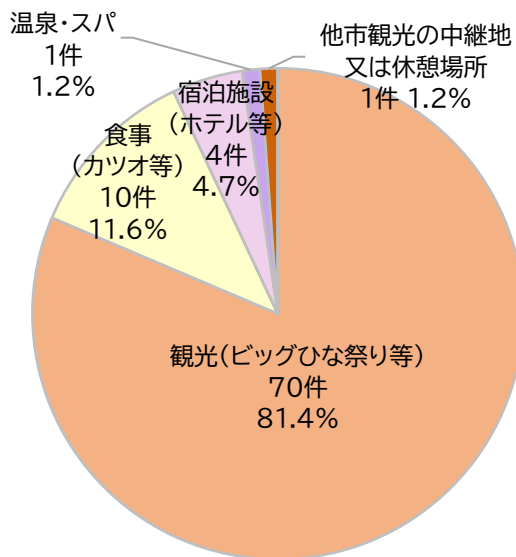
【年齢】



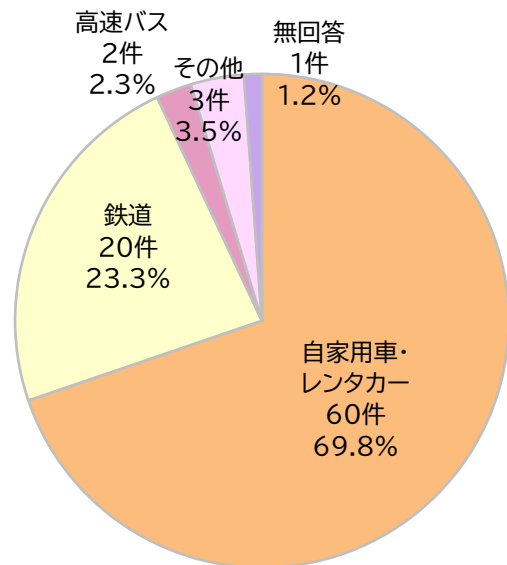
【居住地区】



【訪れた目的】

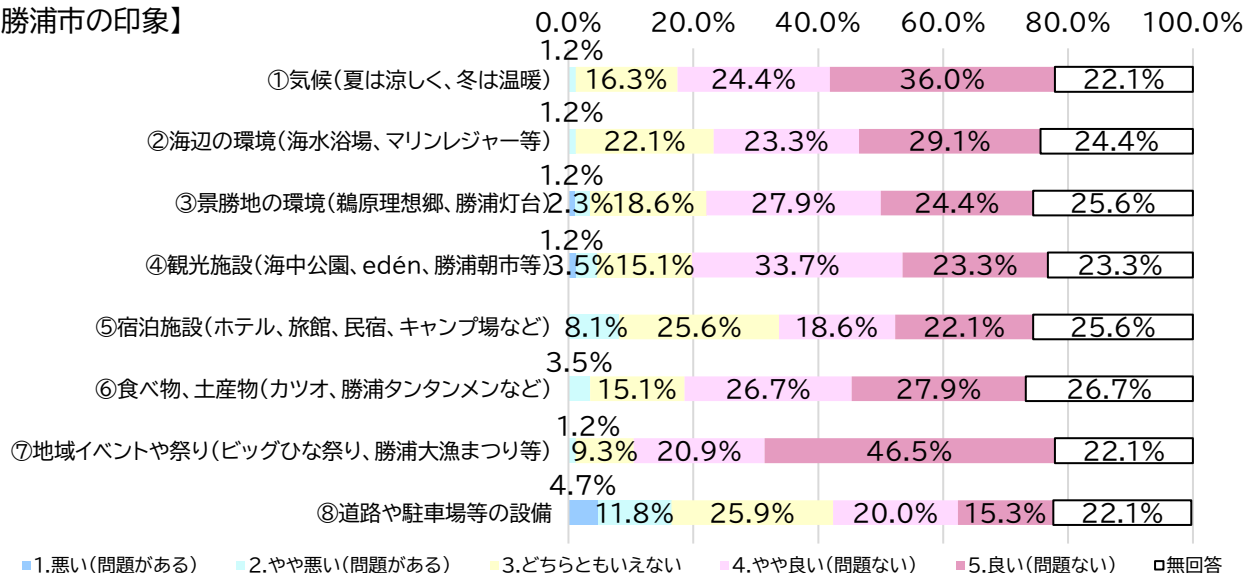


【交通手段】

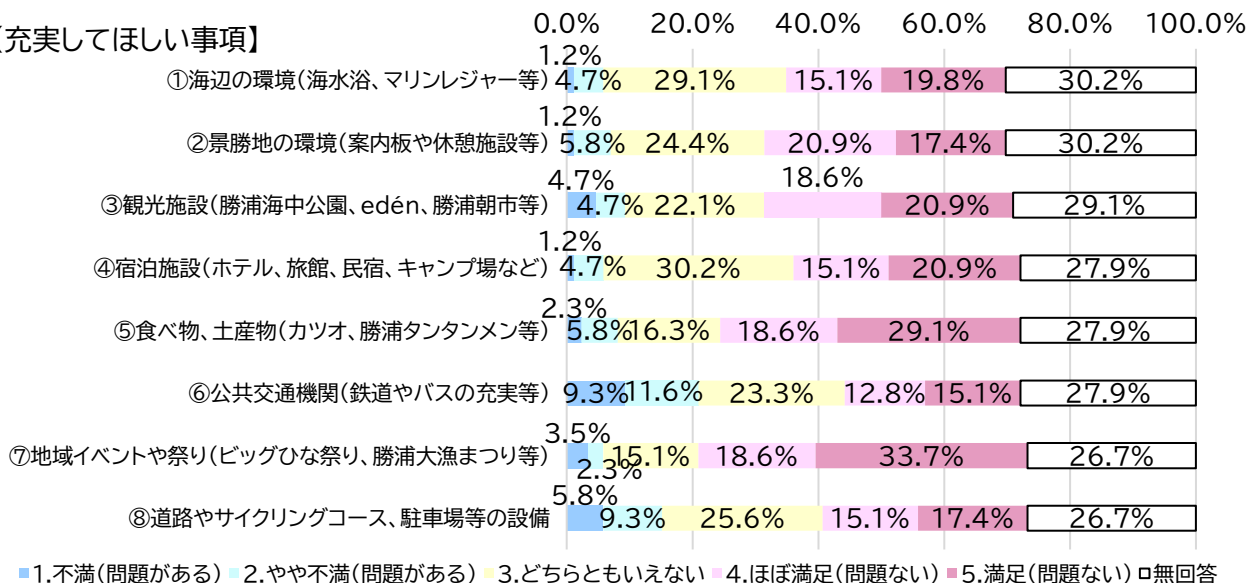


質問項目	質問及び回答結果(上位3項目を記載)
勝浦市の観光スポット等	勝浦市の観光スポット等で興味(訪れたこと)のある場所はありますか？ 1. 遠見岬神社(58件67%) 2. 勝浦海中公園(47件55%) 3. 勝浦朝市(38件44%)
地方都市への二地域居住等の興味	勝浦市をはじめ、地方都市への二地域居住やワーケーション、または定住・移住に興味はありますか？ 1. 少し興味がある(27件31%) 2. わからない(12件14%) 3. とても興味がある(10件11%) 3. あまり興味はない(10件11%)
勝浦市に特に望まれる機能や設備	勝浦市へ二地域居住あるいは定住・移住するとしたら、特に望まれる機能や設備はありますか？ 1. 生活の利便性(買い物など)(34件40%) 2. 住居(マンション、中古住宅、空き家等)(27件31%) 3. 医療・介護(通院など)(23件27%)

### 【勝浦市の印象】



### 【充実してほしい事項】



## 9.都市づくりの課題

### 課題1 少子高齢化・人口流出への対応と不足する都市機能の充実

- 少子高齢化社会への対応に向けて、都市機能が集積する生活拠点を適正に配置した、コンパクトで利便性の良いまちづくりが求められます。
- 集約型都市構造の維持のため、都市機能増進施設の誘導・強化とともににぎわいを創出する都市空間の再生・改善を行いつつ、中心市街地における子育て世代や高齢者など市民交流の場の整備・充実が求められます。また、用途地域外での建築活動を抑制し、市街地外への住宅の分散化を防止し、良好な居住環境の保全・形成が求められます。
- 今後の都市づくりにおいては、医療・福祉施設や商業施設、住宅地等を集約化しつつ、公共交通等により生活利便施設を利用できるようにコンパクト・プラス・ネットワークの都市づくりを進めながら、立地適正化計画の策定も含め検討する必要があります。
- 本市では、鶴原理想郷をはじめとした観光地周辺でのリゾート開発による住宅地の二次的住宅の空き家が多く、その影響もあり、他市町村と比較して空家率が高くなっています。市民意向調査結果からもこれらの空き家の利活用等が課題となっています。また、安全・安心なまちづくりに向けて、老朽化した空き家の倒壊や景観の悪化、空き家等の苦情・相談への対応も求められることから、空き家の適正な管理の促進と指導を行いつつ、中心市街地をはじめ適正な土地利用による地域活力の維持が必要となります。
- 人口流出抑制に対応するため、移住・定住者の獲得と既存住宅ストックや空き家バンクを活用した住宅流通の活性化、長く住み続けることができるように既存住宅の整備・改修が望まれます。また、観光客向けアンケートからも、二地域居住や移住・定住に向けた望ましい機能として、買い物などの生活利便性や賃貸住宅、空き家等を活用した住宅等が望まれていることから、移住・定住希望者のニーズに合う住宅のマッチングが求められます。
- 高齢化が進行する本市の暮らしや観光に密接する交通基盤整備として、暮らしの利便性や隣接市町と円滑につながる幹線道路網を整備するとともに、交通弱者や観光客のための公共交通網として鉄道や路線バス、デマンドタクシー（予約制乗り合いタクシー）等の活用を推進し、持続可能な公共交通の運行維持が求められます。観光客向けアンケートからも、交通に関するニーズとして公共交通機関や駐車場等の充実が求められています。
- 本市は、豊かな森林や透明度の高い海水浴場に恵まれており、既成市街地を中心に市民が身近に利用できる公園が集積しています。市民意向調査結果等を踏まえ、今後は観光客に憩いを与える場の整備や防災機能を有する公園、市民の健康増進等に向けた公園・緑地などの多様な機能を有する場の整備が求められます。
- 本市では、都市下水路と合併処理浄化槽等により生活雑排水や公共水域の保全に努めています。今後も自然環境や景観資源を維持するためにも持続可能な水資源を保全する必要があります。
- 子育て世帯や高齢者、障がい者など誰もが利用する公共公益施設をはじめとし、ユニバーサルデザインのニーズの高まりが予想されます。そのため、施設の老朽化対策として改修や新築の際には、誰もが利用しやすいようにユニバーサルデザインの推進・強化が求められます。

## 課題2

### 地場産業の連携強化と地域活性化

- 豊かな自然環境によって育まれる農水産業ですが、就労者の高齢化と若年・新規就業者の減少、耕地面積の減少、水揚げ高の減少が課題となっています。そのため、地場産業の担い手育成強化が求められます。
- 人口流出抑制に対応するため、働く場の創出と地域の活性化に向けた地場産業の連携強化として、1次産業、2次産業、3次産業の各事業が連携した総合的かつ一体的な産業連携の強化が求められます。
- 事業所の割合が低い2次産業については、農水産物の加工場等の工場の誘致を検討するなど2次産業の活性化と働く場の創出に向けた対策が求められます。
- 交流人口・観光人口の増加のための観光振興の取組として、体験型観光交流や滞在型観光交流等のそれぞれの観光ニーズに対応した地域資源を活かした観光コンテンツの醸成が求められます。また、中学生や観光客に向けたアンケートの結果からも、勝浦市の食べ物や地域のレクリエーション(祭りなどのイベント等)を称賛する声が多いことから、魅力の充実とそれを活かした地域活性化が求められます。
- 観光交流によるにぎわいのあるまちづくりの実現のため、本市の特徴である豊かな自然環境や景観資源を活かした、マリンレジャーやハイキング等の市内を周遊する観光の仕組みづくりとともに、中心市街地に近い商店街と朝市の商業地の魅力醸成・地域活性化が求められます。

## 課題3

### 自然的環境や景観などの地域資源を活かした地域活力の維持

- 上野地区や総野地区をはじめ、集落拠点における農家の後継者不足による耕作放棄地の増加とその対策が求められています。農業集落地では、今後の持続的な暮らしと地域コミュニティの維持に向けた農業の維持・活性化とともに、居住環境や生活環境の確保等が必要となります。
- 県内有数の漁港を有し、漁業のまちとして栄えてきた本市ですが、漁業就業者の高齢化や人口減少による消費市場の縮小等への対策が求められます。漁業集落地では、持続的な暮らしと漁業の維持・活性化に向けて、生活環境の確保等が求められます。
- 新たな生活様式の中で、田舎暮らしや自然志向の高まりにより、地方移住のニーズが高まっています。本市においても、温暖な気候や海をはじめとする豊かな地域資源を活かした地域間交流の維持推進と公園・緑地等の整備・強化を行いつつ、地域活性化を目指したまちづくりが求められます。
- 本市の魅力の核である自然的環境と景観等の眺望を次世代に引き継ぐため、環境の保全や循環型社会の実現に向けた取組が求められます。また、中学生に向けたアンケートでも勝浦市の好きな理由の多くが自然環境(自然や海など)であることから、自然体験学習等を通じて豊かな自然環境と触れ合う機会を育むことが重要です。今後は、世界的に推進されているSDGsを踏まえ、陸の豊かさ、海の豊かさを守る取組強化が求められます。

## 課題4 激甚化する自然災害への適切な対応

- 近年において激甚化する自然災害により、市民意向調査結果からも市民の防災・減災に対する意識が高まっています。災害に強いまちづくりを推進するため、地震や台風、土砂災害、洪水、津波等の災害に対するハード対策として、道路や橋りょう、水道等のインフラの耐震化や緊急輸送道路沿道建築物の耐震化及び不燃化、老朽危険空き家の適正管理など、防災・減災への備えの強化が求められます。また、市民の生命と財産を守るためのソフト対策として、地域防災計画やハザードマップの見直し、備蓄と事前避難等の啓発、避難訓練等の実施が必要となります。
- 市街地を囲むように土砂災害特別警戒区域や土砂災害警戒区域が指定されていることから、市民の安全確保のために土砂災害対策と安全な場所への居住誘導、災害時の交通ネットワークとして緊急輸送道路沿道の安全確保や狭あい道路の解消等が求められます。また、市街地沿岸部では津波による浸水が3m以上となることが想定されることから、その対策として人命の安全確保に向けたハード・ソフト対策が必要となります。
- 消防団や自主防災会の担い手不足が問題となっています。そのため、市民による自助や多様な主体の連携による共助の対策強化、行政による公助として危機管理体制の強化や自然災害への備えの充実等が求められます。
- 南海トラフ地震や日本海溝・千島海溝地震等の巨大地震が発生した場合に向けて、津波対策や地震対策、事前避難等の啓発等が求められます。

## 課題5 多様な主体との連携強化

- 中心市街地をはじめ、人口減少による空き家等の低未利用地の増加が課題となっています。今後は空き家バンク等の普及啓発とあわせて空き家を活用するため、地元事業者と連携した空き家の活用が求められます。
- 勝浦地域と興津地域の中心市街地は、海岸沿いの低地部に津波浸水想定や丘陵部に土砂災害の危険性がある箇所が多く指定されています。少子高齢化による人手不足も課題として挙げられることから、予防対策による減災の周知徹底や復旧・復興対策など地域防災力の向上・連携強化が求められます。
- 猛威を振るった新型コロナウイルスの影響によるイベントの中止等により、地域コミュニティのにぎわいが低迷していました。近年は観光客数が回復傾向にありますが、今後は新たな生活様式やDXに対応した情報発信・共有を行い、地域活性化に向けた市民・事業者・行政等の多様な主体の連携強化が求められます。
- 美しい海と丘陵部から望む眺望景観を活かした都市づくりを推進していく上では、市民や事業者・行政の意識醸成が求められます。市民意向調査結果を踏まえ、清掃・美化活動や維持管理活動等の市民参画の機会を確保し、魅力的な都市づくりの方針を共有し、市民や事業者、行政の総力体制での都市づくりが必要です。
- 誰もが暮らしやすいまちづくりのため、市民ニーズを把握し、市民や各種団体、学校や事業者等の多様な主体がまちづくりに参加しやすい環境や仕組みづくりが求められます。